Old Kyu News（平成23年3月）

新しい「道」

真っ白な雪が舞う3月16日、舟形中学校で卒業式が行われました。「進んでいく道を信じてオンリーワンの自分を磨いてください。」と佐藤栄起校長。卒業生を代表して海藤竜也さんが「真実はいつでも一つ。見失ったときでも自分に近づいてくるはず。」と答辞を読みました。

卒業生は、歌声とあいさつの響く舟形中学校らしく、ヴォーカル&ダンス・ユニットEXILEの「道」を最後に合唱しました。

なお、3月18日には、全小学校でも卒業式が行われます。

長沢和紙に想いを込め

3月3日、長沢小学校3・4年生15名が長沢和紙の紙漉きをしました。長沢和紙は約800年の伝統があるといわれ、舟形町指定文化財に指定されています。現在、唯一の長沢和紙職人の大場秀子さんから教えていただきました。

その後、児童達はできあがったこの和紙に「1字」を書き、2分の1成人式の記念としてタイムカプセルに入れました。4年生の阿部瑠莉さんは「新」という字に新しい自分になりたいという想いを込めました。

学びをともに

3月7日、富長小学校で月1回のお楽しみ学習支援ボランティア「学びをともに」の読み聞かせが行われました。この日は今年度、最後の会ということもあり、児童たちから感謝の花束が贈られました。

「学びをともに」八鍬喜一さん（富田第一）、叶内志保子さん（長者原）、井上キヌ子さん（福寿野）、加藤谷子さん（富田第二）。11年前から、読み聞かせを中心に、昔あそびや水木団子づくりをしたりしています。

新しい農業委員

平成23年3月1日告示の舟形町農業委員会委員選挙で当選した7名に3月7日、当選証書が手渡されました。当選者は次のとおりです。

奥山恵司（福寿野）
加藤勝義（富田第2）
佐藤勇（沖の原）
加藤嘉久（堀内）
星川俊則（舟形第3）
伊藤源士（野）
大場和司（長沢第1）

尚、4月1日に選任による農業委員が決まります。

Old Kyu News（平成23年3月）

卓球の輪

3月6日、毎年恒例の東部地区ふれあい卓球交流大会が生涯学習センターを会場に開催。小学1年の大場康生くんから80歳の髙橋秀雄さんまで54名が参加しました。結果は次のとおり。

【男子優勝】
Aクラス竹屋耕司（舟中2年）
Bクラス佐藤宏平（舟中1年）
Cクラス高橋芳昭（一の関）
【女子優勝】
Aクラス八鍬沙也夏（舟中1年）
Bクラス伊藤豊子（内山）
Cクラス叶内善子（長沢第2）

生きること

講師に愛知県立大学の佐野治准教授を迎え、「自死予防および自死遺族へのかかわりについて」と題した講演会が行われました。12月から行われたこの講演会は、地区公民館など町内30か所で計418人の方が参加しました。

3月7日は、経壇原公民館で開催。佐野先生は「大切なことは、励ましではなく辛い気持ちを理解し寄り添うこと、地域で話ができる場所があることです。」と話しました。あなたの地域はどうですか？

子どもの緊急時に

3月5日、約30名の参加のもとほほえみ保育園で「子どもの急病時の対応」と題した子育て講演会が行われました。

ほほえみ保育園の母親でなる「ほほえみクラブ」の推薦で、新庄県立病院の小児科医長の仁木敬夫先生を招いての講演会。病気だからといってすぐに受診するのではなく、症状を観察することやその対処法などを学びました。

統合に向けて

3月3日、中公民館を会場に第1回舟形町立小学校統合準備委員会が開催されました。「夢と希望を与える、小学校に。」と伊藤教育長があいさつしました。

子どもの一番身近にいる方、子どもと地域を結び付ける立場の方などから41名を委嘱。「校名、校歌、校章部」「学校運営部」「教育環境整備部」の専門部を組織しました。

地域の子どものことは、地域全体ですすめていきましょう。

Old Kyu News（平成23年3月）

議長表彰

3月3日、3月定例議会の前に全国町村議会議長表彰と山形県町村議会議長表彰の伝達が行われました。受賞者は次のとおりです。

【全国町村議会議長表彰】
森晃議員（左下）
【山形県町村議会議長表彰】
信夫正雄議員（左上）
八鍬太議員（右上）
叶内太一議員（中上）
佐藤勝議員（右下）

1／2成人式

3月3日、舟形小学校で二十歳のちょうど半分に当たる4年生が、「2分の1成人式」を行いました。児童たちは、目標や将来の夢、そして日頃なかなか言葉にできない「感謝の想い」を保護者の前で話しました。

保護者の一人は「生まれてから10年、過ぎてみると早いものですね。子どもの成長、みんなの発表に感動しました。」と話していました。

全国児童画コンクール

第29回全国児童画コンクールでほほえみ保育園の園児が活躍。「髪の長いお母さんを書きました。」と愛深ちゃん。結果は次のとおりです。

（右から）
社長賞 「自分の顔」 阿部舞耶ちゃん
店長賞 「かぶと虫とくわがた虫」 髙橋虎士朗くん
入　選 「踊っているところ」 豊岡愛深ちゃん
（事務局：郷野目ストアひのき町店）

Old Kyu News（平成23年2月）

地域づくり研究会

地域の課題を探り、その対応策を「話し合い」によって考える『地域づくり支援モデル事業』に木友・長尾町内会が取り組んできました。この活動のまとめとして、2月27日、事例発表「地域づくり研究会」を中央公民館で約80名の参加のもと開催。あわせて、災害時要援護者支援体制のモデル地区の太折町内会も発表しました。

また、櫻井先生が「続・これからの地域づくりに求められるもの」と題して講演しました。

感謝心

2月25日、山形中央高校野球部の庄司秀幸監督が母校舟形小学校で子どもたちや保護者ら約150名の前で講演しました。「感謝心・夢はかなう」と題し、約束を守ること、靴をそろえること、ゴミを拾うこと、全力疾走の意味などについて話しました。

大山拓さん（堀内）も2年生野球部員。全力疾走で、そして感謝心を胸に「甲子園」へ。私たちに感動を「共有」させてください。みんなで応援しています。

WINTER　FES.　2011

2月19日、20日、Tmプロジェクトfが初めて企画した「Funagata　Winter　fes.　2011」が舟形若あゆ温泉ウッディパークを会場に開催。

レゲエシンガーのYUCAさんらを迎えての「もがみ交流＆恋活アイスBar」では舟形の食も満載。他にも、薫風窯によるキャンドルづくり、東北芸術工科大学生の縄文の女神雪像づくり、雪上大花火などが行われ、

FITS、ほほえみ男組、住民参加型で参加した子どもたちと保護者の方などによりパワー溢れるイベントになりました。

ばさまど地蔵

2月16日、舟形小学校の祖父母参加に合わせて、舟形老人クラブ（会長沼澤貞雄さん）が、古くから伝わる、舟形の昔話「ばさまど地蔵」の劇を披露しました。この劇は、山形県老人福祉大会でも披露したこともあるそうで、練習に練習を重ねての今日となりました。

6年生の沼澤南さんは「演技がとても上手でした。欲張りばあさんのように欲張るのはいけませんね。昔の手まり唄も初めて聞きました。」と感想を話してくれました。

Old Kyu News（平成23年2月）

e-Tax

奥山知雄町長が国税電子申告・納税システム（e-Tax）の開始届けを行いました。e-Taxを利用すると、〇自宅などから納付ができる、〇還付申告の早期処理、〇手数料が安価、〇最高5,000円の税額控除が受けられる、などのメリットがありますのでご利用ください。

また、町県民税・所得税の申告期限は3月15日までです。期限内に正しい申告をお願いします。

雛めぐり

若あゆ温泉で恒例のお雛さまの展示が行われ、八鍬仁さん（長尾）のお雛さまが飾られています。愛らしいお雛さまを慈しみ、子の健康と家内繁栄を祈ります。3月中旬までお楽しみいただけます。

最上は、各地に年代ものの雛人形が残っているという全国的にも稀有な地域。紅花・北前船交易により、遠く都から離れた出羽の地に京や江戸から運ばれた多種多様な雛人形が残っています。

広報コンクールで特選

平成22年度山形県市町村広報コンクールの写真の部（一枚写真）で「広報ふながた」6月号表紙が特選（一位）に選ばれました。この写真は、舟形小学校の運動会の一コマをとらえたものです。

いつも笑顔を絶やさないみなさんを紹介することが一番。全国に舟形町を発信する機会となりました。心から感謝です。

Old Kyu News（平成23年2月）

ぞくぞくと、地域のちから

豪雪対策本部も設置され、雪の降り続く日が続いています。そんな中、地域での取り組みが高齢者の方などを支えています。

【（株）伊藤組】
●月日：2月3日（木）
●内容：一人暮らし高齢者宅の軒下除雪（人力・重機械）【堀内・瀬脇】
●月日：2月6日（日）
●内容：一人暮らし高齢者宅の軒下除雪、他数世帯声かけ
●参加者：消防団員7名
【一の関】
●月日：2月11日（金）
●内容：消防ポンプ小屋、消火栓及びホース格納庫、下一の関信号機付近の側溝の除雪
●参加者：消防団員
【長沢】
●月日：2月5日（土）
●内容：長沢公民館の屋根及び軒下の除雪
●参加者：消防団10名
【大平】
●月日：1月23日（日）
●内容：一人暮らし高齢者宅の屋根及び軒先の除雪
●参加者：消防団員7名
【長者原】
●月日：1月30日（日）
●場所：一人暮らし高齢者宅の屋根及び軒下の除雪
●参加者：消防団員16名
【長者原町内会】
●月日：1月16日（日）
●場所：一人暮らし高齢者宅の屋根及び軒下の除雪
●参加者：2隣組（約20名）
【長尾町内会】
●月日：1月29日（土）
●内容：一人暮らし高齢者宅の屋根の雪下ろし、軒下の除雪
●参加：7名

スカッとスマッシュ

2月13日、町ラージボール卓球大会が行われ、47名の愛好者らが日頃の練習の成果を競い合いました。結果は次のとおり。

【個人男子第1位】 Aクラス伊藤春雄（内山）
Bクラス髙橋喜美男（長沢第3）
Cクラス黒川重弥（舟形第4）
【個人女子第1位】 Aクラス鍛冶知子（舟形第4）
Bクラス伊藤ハツ子（長沢第3）
Cクラス斉藤百子（内山）
【ふれあいダブルス第1位】 沼澤正則（舟形第1）
沼沢さち子（舟形第3）

Old Kyu News（平成23年2月）

婚活

2月12日、舟形町婚活事業「恋の胸さわぎ2011」が玉姫殿で開催。町ともがみ南部商工会青年部舟形支部が、新しい出会いを創造するとともに若者定住を目指そうと企画してもので、平均年齢約26歳の男女41名が参加しました。

テーブルトークなどで盛り上がり、4組のカップルが誕生。「また参加したい」という方が多く、町では出会いの場の創出として今後も継続的に取り組んでいく予定です。

魅力的な「舟形人」…婚活とは自分磨きなのかもしれません。

新春恒例

2月11日、恒例の舟形町囲碁・将棋大会も開催され、実力別のブロックに分かれて熱戦を繰り広げました。結果は以下のとおりです。

また、プロ棋士の中村太地四段を招いて「子どもふれあい将棋教室」が行われ、約10人が参加しました。プロ棋士にアドバイスを受けながら一手一手、駒を進めました。

【囲碁の部（44名）優勝】 Aクラス宮下威（東根市）
Bクラス有路他人也（大石田町）
Cクラス今田陸（天童市）
【将棋の部（39名）優勝】 Aクラス渋谷和宣（鶴岡市）
Bクラス土田正治（舟形町）

「雪げしき」見事に入賞

2月11日、第6回全国どぶろく研究大会が岩手県遠野市で開催され、小国川観光のどぶろく「雪げしき」が「淡麗」の部で入賞しました。大会には、北海道から九州まで、国の「どぶろく特区」の認定を受けた25市町村77銘柄が集結し、飲み比べや事例発表が行われました。

「初の受賞、大変うれしいです。」と小国川観光の斉藤マリ子さん。舟形の味を是非、ご賞味ください。

「雪げしき」
1合（180ml）400円、4合（720ml）1,500円
▼問い合わせ／小国川観光製造部　電話（33）2103

身近な科学実験

2月8日、堀内小学校で最上広域教育研究センターの職員3名を講師に迎えての「わくわく科学教室」が行われました。実験を通して科学の楽しさを知ってもらおうと同校が企画したもので、身の回りにあるものを使った、水素と酸素で走る車、空気砲、静電気を使った実験などを行いました。

4年生の森亜唯さんは「みんなで手をつないでの静電気を体感する実験がとても楽しかったです。ビリっとした。」と話してくれました。

Old Kyu News（平成23年2月）

天候に恵まれ

天候に恵まれた2月6日、富長小学校と堀内小学校で校内スキー大会が開催。富長小学校では学年別のタイムレースやリレーなども行いました。

また、アトラクションとして行われた親子競技では、学年対抗で児童をソリに乗せて保護者が引っ張りました。バトンタッチやコーナーを回る度に、一喜一憂。寒さを吹き飛ばす、和やかな大会となりました。

中学生も前走などで協力してくれました。

「親杉」県天然記念物

猿羽根楯跡の本丸にある親杉。2月4日、この巨木が山形県教育委員会から県天然記念物に指定されました。

「地区のシンボル的存在で地元をあげて保存活動を継続してきました。これからも後世に勇壮な姿を見せてほしいです。」と親杉保存会長で富田連合町内会長の森晃さんは話します。

また、町の天然記念物が県天然記念物に指定されたのは初となります。

～親杉～

●樹高29.56m　●幹回り6.8m　●樹齢推定500～650年

（昭和50年に町天然記念物指定）

ほなみに車いす

ラジオ局「エフエム山形」RhythmStatioが行なった「第22回チャリティ・オークション」。その売上をもとに、小規模多機能型居宅介護事業所「ほなみ」に福祉用品の車いす2台が贈られました。2月3日、エフエム山形の佐藤潤治代表取締役社長より手渡されました。

寄贈を受けた「ほなみ」は、利用者の負担軽減のために短期間だけ利用できるシステムがあればと、無償のレンタルを予定。今後も、「支え」「支えられる」地域との関係づくりを目指します。

Old Kyu News（平成23年1月）

a Happy Smile

舟形小学校の日本語と英語の両輪で育てるコミュニケーション「a Happy Smile」の取り組みが、東京海上日動教育振興基金の学校研究助成に選ばれました。1月25日に表彰状が井上校長に手渡されました。

今回の受賞は、平成15年度から全国に先駆けて行なっている英語活動や伝統的言語文化「百人一首」への取り組みが評価されたものです。井上校長は「これからも笑顔で生き生きと自分の力を発揮してほしい。」と話しました。

教育功労

1月31日、教育功労者表彰式が行われ、太田教育委員長が受賞者に表彰状を手渡しました。

この表彰は、町の教育、芸術、文化の向上、発展に貢献のあった方に毎年行われており、相撲競技で活躍する後藤大樹さん（神室産業高校1年）ら23名の個人、1つの団体の方が受賞しています。

詳しくは、2月25日発行の広報ふながた2月号をご覧ください。

雪と風の中、スキー大会

1月30日、長沢小学校と舟形小学校でスキー大会が行われました。なかでも舟形小学校では、雪と強い風の中での大会となりました。学年別のタイムレースの他にもリレーやミカン拾いなども開催され、ご父兄や地域の方の大声援の中、コースを駆け巡りしました。

今後、2月6日には富長小学校と堀内小学校で開催される予定です。

地域のちから

豪雪対策本部も設置され、雪の降り続く日が続いています。そんな中、地域での取り組みが高齢者などを支えています。

1月29日、長尾町内会では、一人暮らし高齢者7名のお宅を対象に、屋根の雪下ろし、軒下の除雪を行いました。また、長者原町内会と消防団でも、一人暮らし高齢者宅を対象に屋根及び軒下の除雪を行っています。

地域の「想い」に心から敬意を表します。

Old Kyu News（平成23年1月）

恒例の立志式

1月28日、舟形中学校で恒例の立志式が行われました。立志とは目標を定め、それを成し遂げようとする心のことです。この日は2年生40名が自らの想いを1字に託し、凛と張り詰めた空気の中で決意を発表しました。

叶内みのりさんは、「向」という字に、「将来は、農家を継いで、体にもいいものを作りたい。そのために。努力して向かっていきたいです。」との思いを込めました。

心の世紀が建議書を提出

舟形町心の世紀行財政改革推進委員会（委員長大場和夫氏）では、昨年6月から今年1月まで計11回に渡り、行財政課題に関する協議を行ってきました。

委員会では、職員の人件費の抑制や適正な職員数など主な視点8項目、改革の目標年度を平成27年度までの5年間と定め建議書にまとめて、1月26日大場委員長ほか5名の委員が出席して町長に手渡しました。

卯まく、跳ぼう！

1月23日、第24回新春町民なわとび大会が開催。27チーム、約400名が交流を深めました。

【小学生の部優勝】 長沢ファングジョーカー267回
【中学生の部優勝】 ☆ナー’s102回
【一般男子の部優勝】 長者原町内会111回【大会新記録】
【一般女子の部優勝】 長者原若妻会40回
【一般混成の部優勝】 舟形ビッグビッグサンダーズ60回

光生園でマグロの解体ショー

1月19日、光生園で新年会のイベントとしてマグロの解体ショーが開催されました。山形丸魚新庄営業所とフレッシュマート・ベニーほしかわの星川求一さんのご協力により実現。約30kgのクロマグロは頭、背中、お腹と手際よくさばかれ、約1時後には、お刺身や焼き物として利用者に振る舞われました。

利用者の一人は「マグロの生態も学習できたし、解体は迫力があった。そして何よりとても美味しかった。よい1年になりそうです。」と話してくれました。

Old Kyu News（平成23年1月）

豪雪対策本部設置

年明けより断続的に降り続いた雪は、1月19日現在、舟形地区で150cmを超えました。そこで町では、雪害を未然に防止するために豪雪対策本部（本部長奥山知雄町長）を設置しました。今後も降雪が予想されることから、安全な除雪作業、雪崩被害防止、農業被害防止などに十分注意ください。

また、高齢者や一人暮らしの世帯などで、除雪や日常生活などに困っている方は、民生児童委員や町に相談してください。

伝統行事「水木団子」を体験

1月14日、舟形ほほえみ保育園で、小正月の「水木団子」の飾り付けを行いました。これは、五穀豊穣を祈る伝統行事を園児たちに体験してもらおうと、舟形町老人クラブ連合会（会長沼沢貞雄さん）と一緒に行なったものです。

食紅で色づけされた色とりどりの団子やお飾りを大きな水木に飾りました。

ふれあい育児の広場

1月13日、ふれあい育児の広場で小正月の「水木団子」の飾り付けを行い、11名が参加。折り紙で織った干支のウサギなどを水木の枝に飾りつけました。

髙橋泉吹ちゃん（2歳）とお母さんの恵さん（幅）は「初めての水木団子つくり。友達と一緒に楽しくできました。」と話してくれました。

ラジオカーが真木野に

1月12日、山形放送のラジオカーが御柴灯の火にあたるお地蔵さまの取材に真木野町内会を訪れました。このお地蔵さまは、真木野地蔵菩薩と言われ、子宝や子育て地蔵として深く信仰されています。真木野婦人会が着物を作ってお地蔵さまに着せるなどして、地域で大切にしています。

放送には小野嘉彦さん、小野里子さん、小野枝美子さんが出演。今年の御柴灯は1月23日に行われる予定です。

Old Kyu News（平成23年1月）

無事故・無火災を祈願

1月10日、町消防団の安全祈願祭が中央公民館で行われ、今年1年の無事故・無火災を祈願しました。出初め式では、加藤団長、奥山町長のあいさつの後、舟形本町通りで各分団による祝賀放水が行われました。私たち、一人ひとりも防火意識を高め、安全安心な町になるように努力しましょう。

しかし、消防団の団員減少も進んでおり、団員確保が急務となります。

Old Kyu News（平成22年12月）

良いお年を

12月29日～1月3日にかけて公共施設が休業となります。なお、舟形町役場では期間中、出生、婚姻などの戸籍届出はできます。詳しくは、広報ふながた12月号のふれあい広場をご覧ください。

12月31日～1月3日まで、猿羽根山地蔵尊へ初詣ができます。冬期間は閉鎖となっている猿羽根山ですが、年末年始にかけては通行できます。

みなさん、良いお年をお迎えください。

光生園にクリスマスプレゼント

12月23日、光生園でクリスマスパーティーが行われました。ピアノの演奏やおいしそうなご馳走で楽しいひと時を過ごしました。

パーティーの中で、新庄法人会女性部（部会長阿部文子さん）から「からくり時計」1台、マックスバリュー新庄店（店長高橋勝彦さん）からは恒例の「デコレーションケーキ」17個がクリスマスプレゼントとして利用者に贈られました。ありがとうございました。

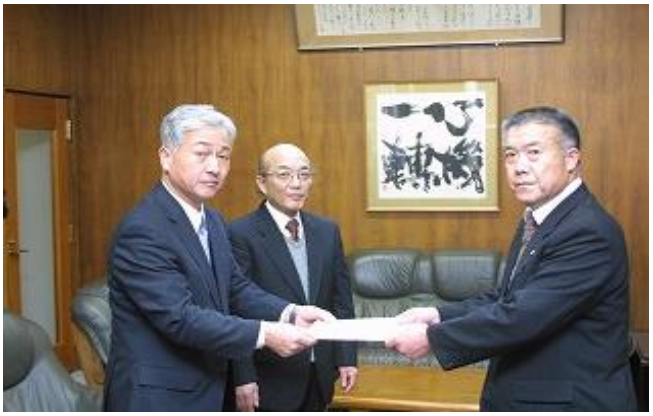
Old Kyu News（平成22年12月）

東海林サツヨさん100歳

12月22日、東海林サツヨさん（洲崎）に長寿褒賞の賀詞と祝金が贈られました。東海林さんは、明治44年生まれの数えで100歳。

足腰が強く、家の周りの草むしりが日課。畑が好きで、野菜を収穫した後の処理が得意。小豆や大豆の選定などの細かい作業も行うそうです。また、好き嫌いがなく、なんでも召し上がられるとのこと。

これからも健康にはご留意ください。



事業審査

12月20日、まちづくり審議会（委員長庄司正宏さん）が平成23年度の主要事業審査の答申書を町へ提出。この委員会は行政施策の運営状況の審査や評価を行うもので、今回は来年度の11事業について審査しました。

「事業の決定については、将来にわたって地域全体が活性化され、町民全体の利益に資する事業を優先することとし、特に既存施設の維持改修事業については、施設の長寿命化及び有効活用の観点から適正な時期に的確な対策を講じるよう要望します。」などと答申しました。

R－1

明治乳業より舟形ほほえみ保育園児と小中学校の児童・生徒の給食時に1年間無料提供いただいている「R - 1」。その効果が全国へテレビ放送されます。

町では、糖尿病の境界型の方を対象に合併症予防検査などを実施。平成17年に実施したヨーグルトモニター事業もその一つです。その後の免疫力を高める効果が実証され、商品化されたのが「R-1」です。

（放送予定）1月16日（日）午後3時30分～TUY
「絶対長生きするぞ宣言！2011年芸能人ご長寿バスツアー」

「山ぶどう酒」発売開始

「山ぶどう酒2010」が完成し、12月20日から発売が開始されました。舟形町で生産された山ぶどうだけを使ったもので、数量限定300本の「プレミア」ぶどう酒です。待ちにまった販売に売れ行きは好調。

「今年の山ぶどうはとても良いものが収穫できました。是非、味わってみてください。」と山ぶどう生産組合の組合長の森晃さん。

大切な人と今年1年を振り返りながら味わうのにピッタリのぶどう酒ですね。

Old Kyu News（平成22年12月）

デゴイチ

12月18～19日、「SL湯けむり号」がJR陸羽東線の小牛田駅～新庄駅間で運行。「デゴイチ」の愛称で知られる蒸気機関車「D51」が雪景色の出羽路を走り抜けました。

18日は終着駅の新庄駅で、最上地域観光協議会が太鼓演奏でお出迎え。温かいそばと玉こんにゃくでもてなすなどしました。大勢の鉄道ファンが詰め掛けました。

教育委員会が議決書

12月16日、第9回町教育委員会で「町立小学校を一町一小学校に統合する目標年次の設定」についての議案が提出され、「小学校統合の目標年次を平成25年4月1日とする」ことが議決されました。

町教育委員会（委員長太田二三男さん）は、町長に議決書を手渡し、「子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の向上を目指し、みんなで協力していきましょう。」と話しました。

冬季消防ポンプ性能検査

12月12日、町冬季消防ポンプ性能検査が行われました。これは、冬季間の消防ポンプの保守管理を徹底するために点検を行うものです。エンジン始動・ポンプ真空状態などが、一定の水準に達しているかを調査し、全車両が合格しました。

「自らの地域は自らで守る」機械器具の整備は消防団精神の表れです。

第11回ふるさとCM大賞

山形テレビが主催する「第11回山形ふるさとCM大賞」。今回、舟形町は幅神楽を題材にして「うさらってほげなる」をエントリー。テーマは「舟形町で生きるということ」です。

12月13日、テレビ放送があり、賞はいただけなかったものの「舟形町」を存分にPRしました。

舟形町作品は以下をご覧ください。

第11回山形ふるさとCM大賞のページ

第11回山形ふるさとCM大賞舟形町の作品こちら

見逃した方…12月30日（木）午後3時00分～(再放送)

Old Kyu News（平成22年12月）

未来戦士スマイルマン

12月11日、舟形ほほえみ保育園の発表会が開催。「愛を込めて花束を」や「祝い船」などの161名の園児のお遊戯に、観客から大きな拍手が送られました。

また、会の終わりには“未来戦士スマイルマン”が登場！笑顔を食べにきたナニガミ帝国『ラズー』を園児たちの「スマイルパワー」で退治しました。このショーは、ほほえみ男組が行なったもので、ブーブースタイルの斉藤慎也さん（大平）が作成・寄付したものを活用しました。ありがとうございます！

こころの健康

12月6～10日、愛知県立大学の佐野治先生による「こころの健康教室」が富田町内会など18地区で開催。健やかで心豊かな人生を送るために、心の健康はとても大切。佐野先生は「悩みの解決には周りの支えが大切です。」と話しました。相手の気持ちを理解すること…。あなたの地域は安心して相談できる環境にありますか？

なお、1月には、長沢等その他の地区でも行われる予定です。

山大エリアキャンパス

12月4～5日、堀内地区を拠点に地域づくり活動を展開している「ブナの実21」の指導により、山形大学エリアキャンパスフィールドワーク舟形教室を開催しました。山形大学から8名の学生と1名の先生が参加。

手倉森に現地踏査活動や佐藤和夫塾長の講話、阿部弘明さんから活動紹介などから、多彩な活動を展開し地域に貢献している活動の体験を通し地域づくりの手法を学習しました。

環境問題に取り組む企業

株式会社伊藤組BIO　DIESEL事業部は、地球温暖化防止を目指してバイオディーゼル燃料製造に試験的に取り組んでいます。町内に呼びかけ食用廃油（キャノーラ油など）を回収していて、約300Lが集まりました。反応・洗浄・脱水の工程を経て、そこから200Lを生成。発電機や自動車に使われています。

「捨ててしまえばゴミですが、環境にやさしいバイオディーゼル燃料にリサイクルしてCO2の削減にご協力お願いします。」と伊藤組の伊藤光信さん。廃油回収に参加しましょう！

Old Kyu News（平成22年12月）

クリスマスリースを作ろう！

12月7日、薫風窯でカルチャースクール「クリスマスリースを作ろう！」が行われ、計18名が参加しました。このカルチャースクールは観光情報館が主催するシリーズ。コットンフラワーなどをつかって玄関先やテーブルに飾るリースを作りました。

参加者の一人、木島真紀さん（洲崎）は「楽しく参加させて頂きました。家に飾るのがとても楽しみ。」と話してくれました。

また、12月18日には、金先生を講師にシリーズ第4回の『暖の器を作ろう！』を開催予定です。

英語でコミュニケーション

12月7日、外国語（英語）活動授業研修会が、堀内・富長小学校5・6年と舟形小学校5年生に分かれ行われました。

舟形小5年生は、英語講師のコーラー先生の指導のもと「Maylaskyousomequestions?」と、友達へのインタビューなどを行いました。伊藤歩美さんは「日本と外国のクリスマスの違いにびっくり。緊張したけど楽しい授業でした。」と話してくれました。

来年度からは英語が必修に。全国に先立って、取り組み始めた舟形町。授業終了後は、阿部フォード恵子先生の職員研修も行われました。

梅津孝顕さん100歳

12月3日、梅津孝顕さん（ほなみ）に長寿褒賞の賀詞と祝金が贈られました。梅津さんは、明治44年生まれの数えで100歳。趣味は囲碁と書道だそうです。

梅津さんは、定泉寺の住職を約60年間にわたり務められ、見事な読経をご記憶な方も多いのではないでしょうか。長寿の家系であるということでしたが、好き嫌いなく食べ、日々精進された賜物ではないのでしょうか。

これからも元気にお過ごしください。

民生児童委員

12月3日、民生児童委員協議会（会長伊藤宏さん）が行われました。今年は、全国一斉の改選の年。6名が新たに委嘱されました。

民生児童委員は、お年寄りや体の不自由な方などが安心して暮らせるように、それぞれの担当の地域で、福祉に関する相談を受けたり、専門機関を紹介するボランティアです。日常生活に関することや子どものことなどで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

Old Kyu News（平成22年11月）

ふるさとCM大賞

ふるさとCM大賞は、私たちの舟形町の魅力をPRするためのものです。今年は、幅神楽保存会（代表伊藤準悦さん）の「幅神楽」を題材に、たくさんの方の力で完成。伝える人は、裏方として若い世代を支え、受け継ぐ人は、ここに生まれたから神楽をやる…。テーマは「舟形町で生きるということ」。想いが人から人へと繋がります。11月30日、審査会では幅神楽を披露しました。

12月13日にテレビ放送があります。結果は…放送をお楽しみに！

近藤優里香さんチアで全国に

近藤優里香さん（西堀、写真中央）が部長を務める羽黒高校のチアリーディング部“North★Stars”が、11月28日開催の全日本チアダンス選手権大会・ポンポン高校生部門（Small編成）に出場。1・2年生6名が東京体育館で爽やかに演技しました。10月の光生園文化祭でも演技をしてくれたメンバーです（写真はその時のもの）。

近藤さんは「次も全国大会を目指し、私たちらしく『フレッシュに』頑張ります。」と笑顔で話してくれました。

歌声の響く町

11月27日、女声コーラス「コールせせらぎ」（代表伊藤美恵子さん）による第9回コールせせらぎ演奏会が中央公民館を会場に行われました。今年は、「日本の四季の歌」をメインに行われ、「花」「雪のふるまちを」など計21曲が披露されました。

また、今年も町内小学生の「器楽クラブ」9名の演奏も加わり、とても美しい旋律が会場に響きました。

除雪作業の安全を

11月25日、舟形町道の除雪作業の安全と事故防止を願う、安全祈願祭が十二河原河川公園で行われました。会場には、大型のロータリ除雪車や道路のパトロールにあたる車両合わせて14台がずらりと並び、運転手ら約30名が参加しました。

なお、除雪路線図などについては、お知らせ版312号をご覧ください。

Old Kyu News（平成22年11月）

善意の車椅子

11月17日、新庄市の夢コーポレーション㈱さんが、障がい者支援施設「光生園」に車椅子を寄付しました。社会貢献の一環として社員の方でプルタブ収集し、今回で2台目となります。車椅子を受け取った自治会長の笹原清さんは、「私たちにとって車椅子は、必要不可欠なもの。活用させていただきます」と話しました。

また、平成20年からパチンコ台の無償貸出も行っていて、外出機会の少ない利用者のレクリエーションと趣味訓練に協力していただいています。

高齢者フェスティバル

11月19日、舟形町高齢者フェスティバルが中央公民館を会場に行われました。舟形町老人クラブ連合会が主催するこの催しには、老人クラブの方々ら約250名が参加。合唱や踊りなどを披露し、大きな拍手を集めていました。

また、式典では、全国老人クラブ連合会長表彰を受賞した佐藤景雄さん（沖の原）や山形県老人福祉大会長表彰の阿部一郎さん（幅）、工藤とめよさん（沖の原）、舟形町老人クラブ連合会長表彰の鈴木勝治さん（西堀）に表彰状が伝達されました。

全国老人クラブ連合会長表彰

11月17日、仙台市で行われた「第39回全国老人クラブ大会式典」で佐藤景雄さん（沖の原）が全国老人クラブ連合会長表彰の「老人クラブ育成功労表彰」を受賞しました。

佐藤さんは8年間にわたり舟形町老人クラブ連合会長を務めるなど、長年にわたり老人クラブ育成に多大な功績を残しています。

誠におめでとうございます。

五橋中収穫祭

11月16日、仙台市立五橋中学校の収穫感謝祭に米や旬の野菜をお届けしました。この収穫感謝祭への参加は今年で3回目。民泊受入家族のみなさんら約40名の他に、五橋中の保護者の方々約70名も参加しました。もちつきなどをして生徒との再会を喜びました。

また、産直まんさくによる舟形町産の野菜の直売所も設けられ、実りの秋一色となりました。

Old Kyu News（平成22年11月）

彦九郎の松

11月13日、観光ボランティアガイド「こぶしの里案内人」（会長石川孝夫さん）が彦九郎の松の植樹を行いました。地蔵尊登り口のこの「彦九郎の松」は、最上郡年代記によると「寛永十一年八月、舟形村代官戸沢九郎右衛門の一子彦九郎十九歳番所破りの仙北浪人を追懸け猿羽根峠の彼方に打果たす。」とあり、この事件にからむものであるといわれています。

昭和50年に老木と雪のため途中で折れた木の両隣りへの植樹となりました。

家族新聞コンクール

11月13日、第6回ふながた家族新聞コンクールの表彰式が行われました。家族が新聞づくりを通して絆を深め、考える力と表現力を磨いてもらおうと、町教育委員会と山形新聞社、山形新聞舟形専売所が開催。テーマは「家族」「夢」「自然」「福祉」で、計162点の応募がありました。

優秀賞

【中学年】森雅（堀内小3年）佐藤杏奈（舟形小4年）内和大成（富長小4年）

【高学年】原田大輔（富長小5年）伊藤桃代（長沢小6年）内和美月（富長小6年）

羽州街道の要所「猿羽根峠」

11月14日、舟形町中央公民館で名の約30名参加のもと、第3回目となる舟形町地域学講座「おくのほそ道と最上川」が開催。コーディネーターにおくのほそ道大学学長梅津保一さん、パネラーには、舟形町文化振興委員会長石川孝夫さん、東北文教大学教授菊地和博さんらを迎え、「舟形町の歴史文化遺産を活用した町振興発展」と題したシンポジウムも行われました。「芭蕉」「茂吉」「民俗文化」「猿羽根峠」「食」の活発な意見交換となりました。

世界バレーに負けない熱戦

11月12日、B&G会長杯争奪大会少女バレーボール競技が行われました。約20名の選手は、サーブにレシーブに大きな声でチームプレーを発揮しました。

2010世界バレーでは女子が大健闘！舟形町の未来のジャパン候補たちにも大きな歓声が送られました。結果は次の通りです。

優勝：富長少女バレーボール

準優勝：舟形ウィングスA

第3位：舟形ウィングスB

Old！Kyu News（平成22年11月）

地区生涯学習推進大会

11月12日、最上地区生涯学習推進大会が『読み聞かせ活動を通した地域づくり』をテーマに生涯学習センターで開催され、約200人が参加しました。生涯教育への功労に対して、矢作昌孝さん（堀内）、八鍬喜一さん（富田）やブナの実21（代表佐藤和夫さん）、幅神楽保存会（代表伊藤準悦さん）へ表彰状が贈られました。

また、作家の中山千夏さんが「作者のつもり」と題して講演しました。

防火キャラバン

11月6日、秋季火災予防運動（11月9日～15日まで）に合わせ、防火キャラバンを行いました。消防車両により町内を巡回し、火災の予防を呼びかけました。火災「0」を目指し、みなさんで火の用心に努めましょう。

平成22年度全国統一防火標語
「消したかな」あなたを守る合言葉

母の会が交通安全教室を開催

11月10日、長沢第1･2･3、内山、経壇原町内会のみなさん約50名が内山公民館に集い、長沢駐在所の森さんの講話と「じぞうさま劇団」（舟形町交通安全母の会役員）による寸劇「嫁の話、守って無事故」を通して、交通事故防止を楽しく学びました。

これからの時期はますます夕暮れが早まります。大切な命を守るため、夜光反射材を身につけ「見せる安全」に努めましょう。

食べることは大事な「練習」

11月9日、食改のヘルスメイトのお二人、斉藤澄子さんと沼澤光子さんを講師に招いて栄養学講座が富長小学校で行われ、富長バレースポ少の児童や保護者約30名が参加しました。楽しく食べながら食事について学ぶことの大切さや「食べ物を選ぶ力」「料理ができる力」「元気な体が分かる力」について考えました。

アスリートにとって食べることは大事な「練習」です。良い習慣を身につけさせたいものです。

Old Kyu News（平成22年11月）

ほなみ収穫感謝祭

11月1日、舟形第二老人クラブの方やほなみ利用者など約50名が参加して、ほなみ収穫感謝祭が行われました。献立は、いものこ汁や小国川鮭の味噌漬け焼きなどで、食材の殆どが老人クラブのメンバーの方が丹精込めてこしらえたものです。また、それぞれの得意分野を生かして寒天や漬物をこしらえて振る舞ったり、踊りを披露したり、みんなで楽しくゲームをしたりと全員参加型の交流が盛大に開催されました。

新庄次年子村山線の整備を

11月9日、農村環境改善センターで新庄次年子村山線期成同盟会総会（会長舟形町長奥山知雄）が行われました。新庄次年子村山線は、新庄市・舟形町・村山市・大石田町をつなぐ主要地方道で、舟形町区間は長者原から松橋までを結ぶ重要な路線です。

総会では、1. 堀内橋の整備、2. 冬季閉鎖区間についての整備促進、3. 冬季道路交通対策などを盛り込んだ要望書を県や地元県議会議員に提出しました。

読んだ本を絵に

自分の読んだ本を「絵」にすることでその本に対する理解を深めようと「小学校読書感想画コンクール」が開催されました。応募総数240点で、結果は次のとおり。応募作品は、総合文化祭で展示されます。

【最優秀賞】

1･2年星川優月さん（舟形小1年）「おしいれのぼうけん」

3･4年飯田達也さん（舟形小3年）「ふつうの学校に行くふつうの日」

5･6年下山ほのかさん（舟形小5年）「銀河鉄道の夜」

中学生のまちづくり

11月8日、舟形町第1回中学生議会が行われました。地方自治と議会の役割を生徒たちに学んでもらおうと議会などが初めて企画したものです。3年生52名のうち、1人は議長席に、10人が議員席に着席。小学校の統合や子育て支援住宅などについての一般質問を町長ら町執行部に行いました。

前半に議長を務めた小庄司滉さんは、「私たちの視点を町づくりに生かしてほしいです。」と話していました。

Old Kyu News（平成22年11月）

秋を歩く

11月5日、健康づくりのための運動教室として「猿羽根山公園でのウォーキング」が行われました。講師はお馴染み、（財）新庄市体育協会の三原茂先生。今回は、ウォーキング前後のストレッチと運動強度について重点的に学習しました。参加者14名は往復約5kmのコースを脈拍を測り、自分に合ったペースを探りながらウォーキングを行いました。

参加者は「天候にも恵まれ、三原先生の指導でとても楽しく歩くことができました。」と話していました。

総合文化祭

舟形町総合文化祭が11月8日～14日の7日間、町中央公民館を会場に開催しています。館内には、34名の方の一般作品74点、6団体の268点、計342点を展示中です。

みなさんの渾身の力作をこの機会に是非ご覧ください。

芸術の祭典

11月3日、町中央公民館を会場に舟形町芸能フェスティバルが開催されました。今年は、21団体、約250名が参加。踊り、歌、詩吟、三味線などが披露され、「芸術の秋」一色に染まりました。

～出演団体～

山形岳風会舟形支部／吾妻栄憲会／三山正満会／最北歌謡振興会／踊り泉会／ダンスフレンドリー／千川和の会／舟形よさこい「紅」／芙蓉流日舞舟形教室／舟形町民舞会／日舞愛好会／田植え踊り保存会

ワークショップ

11月1日、約60名の参加者のもと、高崎経済大学の櫻井常矢准教授を迎えての「地域づくり研修会」が行われました。櫻井先生は、山形県地域コミュニティ再生促進事業アドバイザーで地域活性の仕掛け人です。参加者は、ワークショップ（話し合い）で自分たちの地域について話し合いました。

6月に開催した櫻井先生の研修会が好評だったことなどから、今回、夜間の時間帯での開催となりました。

Old Kyu News（平成22年11月）

音楽は心の栄養

11月1日、舟形中学校でトリオ・アラモーレによるスクールコンサートが行われました。トリオ・アラモーレは、ソプラノ歌手の高橋まり子さん、チェロ奏者の増川大輔さん、ピアニストの須藤恵美子さんの3人。原曲はもちろん、個性を生かした独創的な編曲も。この日は、クラシックのほか、おくりびとやハウルの動く城の「世界の約束」などを演奏しました。

「音楽は心の栄養。今日お集まりのみなさん、本当に幸運ですね。」と佐藤栄起校長。保護者や地域の方も訪れ、素晴らしい演奏会となりました。

町づくりに貢献

11月1日、今年度の舟形町自治功労表彰式が行われました。この表彰は、地方自治の振興、産業・経済の発展、学術・文化振興などに貢献された個人や団体を対象に授与される、町で最も名誉ある表彰です。

【表彰の部】
沼澤誠啓さん（一の関）
斎藤保さん（幅）
佐藤啓さん（太折）
鍛冶紀邦さん（舟形第4）
曽根田武さん（富田第1）
矢作昌孝さん（堀内）
佐藤克己さん（東京都）
原田政雄さん（舟形第4）
【感謝状の部】
斎藤好彦さん（富田第1）
星川正夫さん（木友）

Old Kyu News（平成22年10月）

星香港テレビ局が番組作成

外国人観光客が日本各地に訪れている中、香港のテレビ局が東北の名勝を紹介する番組作成ため長沢地区を取材しました。10月29日の取材当日は「若鮎交流塾（代表叶内富夫さん）」の方々が対応し、「ミス香港」の2名が稲刈りや大場清之さんのお宅で郷土料理作りを体験しました。

なお、この模様は日本以外のアジア各国でゴールデンタイムに30分番組で放映される予定です。

Old Kyu News（平成22年10月）

健康づくりをテーマに

町では、「食生活・運動推進等健康づくりに関すること」をテーマにした『健康づくりポスターコンクール』を行なっています。10月22日に審査会が行われ、99点の応募作の中から入賞作品が決定しました。作品は町総合文化展や舟形若あゆ温泉に展示されるほか、平成23年度の町民健康カレンダーに掲載する予定です。

【小学校の部】最優秀賞
内和美月さん（富長小6年）
【中学校の部】最優秀賞
渡邉千裕さん（舟形中3年）

星川先生、ありがとう

10月末をもって、星川医院が閉院されました。星川亨先生は、昭和18年10月から舟形町で診療を開始以来、91歳の今日までひたすら地域医療に貢献されました。

冬期間の徒歩や箱ぞりでの往診、夜間などの緊急時にも快く駆けつけてくださったことに対する感謝の想いは、世代を超えて語り継がれています。また、堀内地区の分院での診療、町の健康管理事業にも大変ご協力をいただきました。

町民一同、これまでのご労苦に心から感謝申し上げます。

全力疾走に不安は追いつけない

10月31日、舟形小学校グラウンドを会場にB＆G会長杯争奪大会（少年野球競技）が行われ、3チームが出場しました。

舟形ビッグサンダーズのキャプテン眞見樹くんが、「僕たちは5年後、甲子園に行きます。そのために、親と監督、そして仲間を信じて頑張ります。」と選手宣誓。結果は次の通りです。

優勝：長沢少年野球
準優勝：富長ジョーズ
第3位：舟形ビッグサンダーズ

ロングランコンペ

10月16～24日まで舟形町長杯ロングランコンペが開催されました。結果は次の通りです。

舟形町長杯ロングランコンペ
結果順位/氏名/グロス/ネット

1/浅沼常美さん/84/69.6	2/冨樫富男さん/94/71.2
3/柿崎秀治さん/81/72.6	4/高山浩志さん/90/73.2
5/森英利さん/84/73.2	6/植松昌山さん/92/74
7/原田和彦さん/95/74.6	8/高橋勝英さん/88/74.8
9/沼沢洋一さん/96/75.6	10/土田正治さん/88/76

Old Kyu News（平成22年10月）

小児救急の知識を

10月29日、山形県立新庄病院小児科の仁木敬夫先生を講師に迎え、小児初期救急講習会が町保健センターで行われました。参加者17名。急病時の対応の仕方、事故・感染予防の大切さ、実際の救急について具体的に分かりやすく教えていただきました。

参加者は、「病院受診時のコツ、すぐに役立てられそう。」「喘鳴（ぜんめい）の音など、実際の録音で聴けて勉強になりました。」などと話していました。

元気アップ健康教室

10月27日、町保健センターで元気アップ健康教室が開催。「女性の健康と更年期障害について」について、山形大学医学部産婦人科の高橋一広先生を講師に迎え、48名が参加しました。更年期障害に対してのホルモン補充療法、子宮頸がん・卵巣がんなどの検診予防などの大切さについてお話をいただきました。

次回の健康教室は、11月30日に「頭痛とめまいの原因と治療について」をテーマに開催されます。

グラウンドゴルフ

10月25日、若あゆ温泉ウッディパークで開催されました。舟形町グラウンドゴルフ協会が主催するこの大会には約50名が参加。結果は次の通りです。

【男子】 優　勝　川合久典さん（舟形第4）
　　準優勝　武田吉雄さん（沖の原）
　　第３位　渡邊功さん（紫山）
【女子】 優　勝　大場昇子さん（長沢第1）
　　準優勝　芳賀トモ子さん（沖の原）
　　第３位　佐藤昭子さん（長沢第1）

森の感謝祭

10月30日、あゆっこ村で「清流小国川を育む森林づくり」と題して森の感謝祭が行われました。これは、森林の持つ公益的機能などの価値を理解していただくため、「やまがた緑環境税」を活用し、最上地域林業振興協議会、町が主催したものです。

最上地域の緑の少年団ら約300名が参加し、記念式典やオオヤマザクラの記念植樹などが行われました。また、森づくり活動では、木製巣箱・木製プランターづくりなどを行いました。

Old Kyu News（平成22年10月）

おもひでがいっぱい

豊かな自然、伝わる歴史、残したい暮らしなどの「舟形町の魅力」を写真を通して表現してもらおうと行われている「舟形フォトコンテスト」。現在、たくさんの写真を応募いただいております。

中でも、ご家庭に眠る昔の舟形町の写真を集めた「舟形町おもひで写真館」には家族・舟形の歴史を語る貴重な写真が目白押しです。舟形若あゆ温泉に展示中です。

稔の秋

10月23日、「秋の稔ふながた収穫祭」が舟形若あゆ温泉センターハウス前で行われました。舟形町観光情報館が初めて試みたこの収穫祭。舟形食彩工房(有)のアイスクリームや産直まんさくによるつや姫のおにぎりなどが振る舞われました。

また、Tmプロジェクトfが企画した「第1回舟形町産やまがた地鶏フェア」も行われました。舟形町産のやまがた地鶏を使った「コロコロ地鶏やき」などが人気を集めました。

高齢者や障がい者を地域で守る

10月24日、太折町内会で避難訓練を開催しました。大規模な地震が発生し震度6強を記録したことを想定したこの訓練には、100名が参加。町社会福祉協議会や日本赤十字社山形支部などの協力により、災害時要援護者の安否確認・避難誘導訓練、安否確認報告訓練、非常炊出し訓練などを行いました。

同町内会では地域の防災意識と連帯意識を高め、災害時の人的被害防止と軽減を図るため、町のモデル地区の指定を受けています。

小学校で文化祭

10月24日、秋晴れのこの日、町内4小学校で家族や地域の方の参加のもと「文化祭」が行われました。

中でも、舟形小学校では、「元気一番！スペシャルSMILE舟小祭」と題して開催。6年生は、オリジナルの英語劇「おおかみと13匹のこやぎ」に初めて挑戦しました。分かりやすい英語とユーモア溢れる演技で会場は爆笑の渦に包まれました。「Smile Again」の合唱でフィナーレを迎えました。

Old Kyu News（平成22年10月）

沼澤紀美子さん厚労大臣表彰

町食改の沼澤紀美子会長が、10月15日に開かれた平成22年度全国食生活改善大会で、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

県食生活改善推進協議会副会長として地域住民の食生活の改善に先頭に立って貢献していること、食育の普及にも尽力され、親子の料理教室や紙人形劇などを通じ、食の知識や知恵の普及啓発を積極的に行っていることなどが評価され、今回の受賞となりました。

10月19日に、奥山町長へ受賞を報告しました。

クマに注意

今年はクマの目撃情報が多く、144件（9月末現在・山形県警調べ）と昨年同時期の約2倍となっています。山間部だけでなく平地部での目撃事例も多く、十分な注意が必要です。

クマを目撃したり、痕跡を発見した時は、速やかに舟形町役場振興課農政班か警察・消防署に連絡をお願いします。

ヤマドリ

年々減少していた「ヤマドリ」を保護しようと山形県内ではヤマドリの放鳥事業が行われています。10月18日、山形県猟友会最上支部 舟形支部（支部長 阿部義春さん）でも、今年初めてヤマドリの放鳥を行いました。

豊かな自然環境だからこそ、生態系の維持に努めていかなくてはなりません。

遊々塾

10月18日、四季豊かなふるさと長沢の草花の植生を学ぼうと「秋の植物探索と林業体験」が行われました。

この長沢子ども遊々塾の事業に参加したのは24名。山形県森の案内人の矢口末吉先生らを講師に迎え、大平から学習センターまでを歩いたり、なめこ・しいたけ菌打ち体験などを行いました。

Old Kyu News（平成22年10月）

秋晴れの中

10月17日、西堀町内会が「太平山」と「猿羽根根山」散策を行いました。ブナの実21の佐藤和夫会長と森の案内人の柿崎平吉さん、菊池將光さんらの案内で参加者約30人が歩きました。

太平山の母屋からの眺めは絶景で舟形地区が一望できました。また、動植物からたくさんのことを学びました。

なお、この事業は、県森林整備課の支援を受けて行われています。

備える

10月17日、町総合防災訓練が堀内地内で行われました。震度6の地震が発生したという想定した訓練には、約250名が参加。最上広域消防署南支署や舟形町消防団が中心となり、非常召集訓練や火災防御訓練、災害時要援護者の安否の確認などを行いました。

～住宅用火災警報器の早期設置を～

高齢者向けのメニューも

10月8日、毎年恒例の舟形老人クラブ料理教室が12名の参加のもと行われました。

講師の先生は、食生活改善推進協議会の「ヘルスメイト」4名。「骨を丈夫にするメニュー」をテーマにスキムミルクやチーズを使ったビビンバ、千草卵、さわやかヨーグルトサラダを作りました。

感謝

10月13日、米寿を迎えられた50名の方に奥山町長が直接訪問して賀詞や祝品を送りました。

大正、昭和、平成とご家族、舟形町発展のためご尽力をいただいた方々に心から感謝いたします。また、これから寒くなりますので、お体をご自愛いただき、ますますのご長寿を心からご祈念いたします。

Old Kyu News（平成22年10月）

それぞれの課題

10月13日、木友町内会で「まちづくり意見交換会」が行われました。この会は、町内会の課題や意見要望など町内会と町長などで話し合う機会です。行政ができることは限界があります。地域にはそれぞれの課題があり、自分たちの地域に本当に必要なものを考えていかなくてはなりません。

今後、要望のあった町内会で開催されます。

スポーツの祭典

10月11日、体育の日。第18回舟形町スポーツフェスティバルが開催されました。爽やかな秋晴れのこの日、参加者は428名がソフトバレーボールなど9種目で交流を深めました。

結果は「広報ふながた10月号」をご覧ください。

町民ゴルフ大会

10月10日、町ゴルフ協会主催の舟形町民ゴルフ大会が県民ゴルフ場で開催されました。

また、チャリティーホールが設けられ、町社会福祉協議会に寄付されました。

光生園で文化祭

10月9日、「たくさんの出会いを求めて」のテーマのもと光生園文化祭が開催されました。

作品展示、模擬店などにたくさんの方で賑わいました。また、ほほえみ保育園「南部子宝太鼓」の披露にはたくさんの拍手が送られました。

Old Kyu News（平成22年10月）

羽州街道の整備

10月8日、舟形町観光ボランティアガイド協会「こぶしの里案内人」（会長石川孝夫さん）による毎年恒例の羽州街道の整備が行われました。6名の参加者が羽州街道の草刈りを行いました。

同協会には恵まれた自然や、歴史・文化遺産の紹介とともに、このような史跡・旧跡の保全や整備にも尽力をいただいております。本当にありがとうございます。

交流

10月6日から8日にかけて、秋の児童交流学習が行われ、舟形小学校の児童21名が世田谷区代沢小学校を訪れました。「自立心」や「広い視野」を持つ児童の育成、「心の交流」を深め、心豊かな人間性を育てることを目的にするこの交流。代沢ウォーク、みなとみらいや日産自動車横浜エンジン工場の見学、児童宅への民泊などで交流を深めました。

また、10月7日から8日にかけて、富長小学校児童12名が港区三光小学校と交流しました。

中学生が議会を傍聴

10月5日、舟形中学校3年生の約50名が町臨時議会の一般会計補正予算の審議を傍聴しました。これは、社会科の授業の一環として11月8日に開催される「中学生議会」の準備のためのものです。議題は「まちづくり」の予定。地方自治の仕組みや町議会の役割を学習し、関心を深めてもらうことはもちろんですが、中学生ならではの視点も注目されます。

中学生は、議場で活発な意見を交換する町議員の方の姿に真剣に見入っていました。

いも掘ったぞ～

10月5日、ほほえみ保育園で春に自分たちで植えた「さつまいも」と「さといも」の収穫を行いました。年長組さん45名が挑戦。「大きいのがとれた！」「たくさんあるね～」「おっきい、ミミズ！」などとても楽しそうでした。

なお、さつまいもは13日に「焼きいも」にして、さといもは給食で「いも煮」などで食べる予定です。

Old Kyu News（平成22年10月）

市町村親善ゴルフ大会

10月3日、市町村親善ゴルフ大会が県民ゴルフ場を会場に行われ、最上地区の各市町村から114名が参加。一般の部と、シニア・レディースの部に分かれてスコアを競い合いました。

一般の部では伊藤伊一さん（大蔵村）が、シニア・レディースの部では大場捷さん（最上町）が優勝。また、団体の部では新庄市が優勝しました。

かかしまつりで販路拡大を！

10月1～2日、飯倉小学校との児童交流でゆかりの深い東京都港区で行われた「第36回港区かかしまつり」で舟形町特産品の販売を行いました。食彩舟形工房、産直「まんさく」、アグリテック、松原が出店。販路拡大に向けてPRを行いました。

かかしコンテストには、富長小学校児童作成の「かかし」も出場。タイトル「坂東英二が舟形町で鮎釣り！？」は見事に審査員特別賞に輝きました。

農協本店が舟形町へ

10月1日、新庄もがみ農業協同組合（代表理事組合長 安食 賢一さん）本店移設の開所式典が行われました。更なる農業振興に期待が寄せられます。

問い合わせ
新庄もがみ農業協同組合本店
TEL 0233-32-8270

教育委員に石山和春さん

10月1日付で、石山和春さん（富田第1）が町教育委員会委員に任命されました。よろしくお願いします。

Old Kyu News（平成22年10月）

人権擁護委員に阿部則幸さん

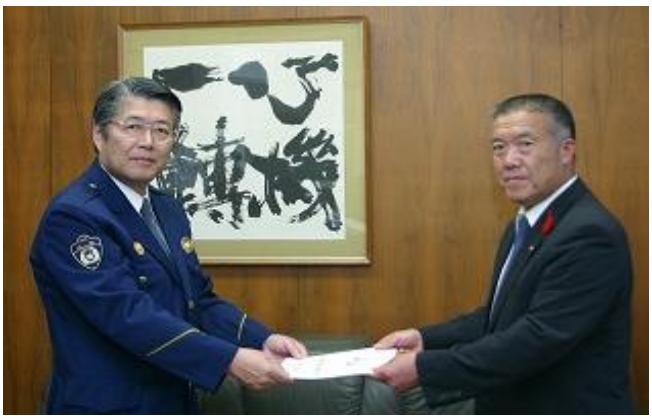
10月1日付けで、阿部則幸さん（洲崎）が町人権擁護委員に委嘱されました。よろしくおねがいします。

認知症予防

9月30日～10月1日、愛知県立大学文学部社会福祉学科佐野治先生のゼミ学生10名が町内17地区で「認知症予防について」の講演会を行いました。地域のみなさん約300名が参加しました。

学生は「あたたかく迎えていただきました。また、何かのお役にたちたい。」と話していました。

認知症を知ることは最後まで地域で生きることそのもの。町では認知症サポーターの養成講座も開催しています。



全国地域安全運動

10月1日、佐藤良幾新庄警察署長が舟形町役場を訪れ、10月11～20日に行われる全国地域安全運動のメッセージを町長に伝達しました。

「みんなでつくろう安心の街」をメインスローガンに、地域の安全に取り組むこの運動。地域のみなさんの安全・安心な暮らしを守るため、各関係機関の方と運動の推進に力を入れてまいります。

Old Kyu News（平成22年9月）

世界に一つだけの…

9月27日、薫風窯でカルチャースクール「陶表札を作ろう！」が行われ、7名が参加しました。このカルチャースクールは観光情報館が主催するシリーズで8月には「Myご飯茶わんを作ろう!」が行われ大変好評です。丹精込めてつくった表札は、世界に一つだけのものです。

観光情報館では、10月23日（土）に「秋の実り収穫祭」を予定しています。みなさんお誘いあわせの上、お越しください。

きれいな川を

9月26日、河川一斉清掃が行われ、1,111名の方が参加しました。小国川など地域の河川を中心にトラックにして10台分、2,950kgのゴミを回収しました。近年、ポイ捨て禁止などの意識が根付いたことなどにより、ごみは少なくなっているようです。

これからも町の川がいつまでもきれいであるよう頑張りましょう！

おくのほそ道と最上川

9月25日、舟形町中央公民館で舟形町地域学講座「おくのほそ道と最上川パートⅡ」が行われ、約30名が参加しました。

おくのほそ道大学学長の梅津保一さん、堀内田植え踊り保存会代表の矢作幸夫さん、大石田町歴史民俗資料館館長の板垣一雄さんを迎え、「最上川」をキーワードに「芭蕉・茂吉・伝統芸能」について意見を交換しました。また、「堀内田植え踊り」の披露も行われました。

11月にはパートⅢを開催予定。

小学校統合に向けて

9月24日、「学校教育環境を考える」と題した座談会が西堀公民館で行われました。町教育委員会は少人数複式学級の解消を第一義的に、町内4小学校を統合し、町内1小学校とする方針であることなどを説明。7月から全町内会を対象に行なっているもので、今回でひと区切りとなりました。

これらの結果から統合の具体的な時期についての検討を始めたいと考えています。

Old Kyu News（平成22年9月）

親子でクッキング

9月24日、舟形小学校PTA母親委員会「CHA-CHATの会」（会長海藤和江さん）が親子クッキング教室を保健センターで12家族の参加により開催しました。

講師は、舟形町食生活改善推進委員（会長沼澤紀美子さん）の5名の方々。「地産地消」をテーマに舟形町産の食材を使ってけんちん汁や若鶏とナスの薬味ソースがけなどを親子で楽しく調理しました。

三世代交流

9月18日、長沢子ども遊々塾（代表富樫市男さん）で「三世代交流グランドゴルフ大会」が行われました。この大会は、子どもたちと地域内の各世代の方との交流の場にし、子どもたちの豊かな心を育てようと企画されたものです。

会場の長沢小学校グラウンドでは小学生から大人まで約60名が集合。各世代が入るように組み分けされ、8ホールで交流を深めた。

町清流荘、いつもありがとう！

9月17日、舟形老人クラブ（沼沢貞雄さん）のみなさんが恒例の「清流荘」の清掃奉仕活動を行いました。同クラブで月1～2回の集まりなどで使用している清流荘。草むしりや庭木の剪定で見違えるほどきれいになりました。

みなさん、お疲れさまでした！

佐藤クラさん100歳

9月17日、佐藤クラさん（舟形第3）に長寿褒賞の賀詞が贈られました。佐藤さんは、明治44年生まれの数えで100歳。趣味は読書で、本を読んで過ごすことが多いようです。カステラやまんじゅうなどの甘いものが好きだそうです。

また、若い頃、和裁が得意で、着物の仕立てを頼まれたり、人に教えたりしていました。畑仕事が好きで、毎日手入れをかかさなかったそうです。

佐藤さん、これからも元気にお過ごしください。

Old Kyu News（平成22年9月）

町敬老祝賀会

9月22日、町の敬老会祝賀会が中央公民館で行われました。式典では、今年数え77歳で喜寿を迎えられた94名と今年結婚50周年の金婚を迎えられた16組のご夫婦のみなさんへ奥山町長より賀詞や祝品が送られ、今日の繁栄を築いた方々へ感謝の意を表しました。

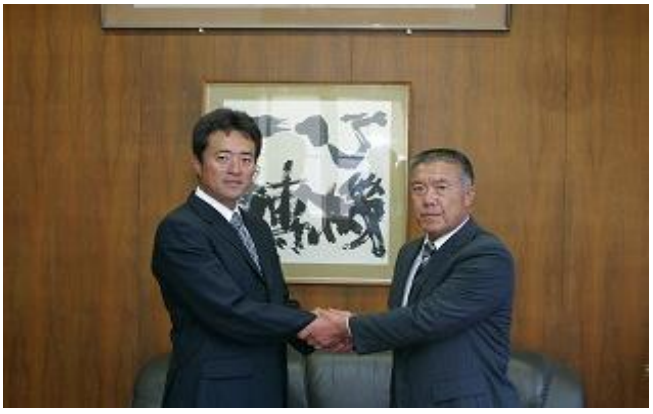
また、山形新聞新庄支社長からおしどり金婚さん顕彰のレリーフが贈呈されました。

高齢者の交通事故防止

9月21日、秋の交通安全県民運動出発式が役場前で行われました。

今回の運動の基本は「高齢者の交通事故防止」です。夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止等を重点的に今月30日まで行われます。

町内の死亡事故「0」…669日
※9月21日現在



全力疾走

9月15日、山形中央高校の庄司秀幸監督が奥山町長を表敬訪問しました。庄司監督は、太折出身の33歳です。春夏連続で甲子園出場を果たした山形中央高校。感謝心を掲げる同校野球部の戦う姿は、県民、そして私たち舟形に住むものに大きな感動を与えていただきました。

常に全力疾走する山形中央高校の選手たち。ある解説者は大会を振り返って「一塁への全力疾走は山形県代表の山形中央高校が日本一。徹底されていました。」と話していました。

今年も秋晴れ、運動会！

9月18日、ほほえみ保育園で「ほほえみ保育園運動会」が行われました。子宝太鼓の演奏で始まった運動会は、秋晴れのもとたくさんの応援と園児達のがんばりにより盛大に開催されました。

毎年、大声援が贈られる年長組さんの親子競技。今年は「ゲゲゲの女房」でした。目玉のおやじに扮した保護者が鬼太郎の衣装をまとった子どもたちと一緒にゴールに向かいました。

また、昼食は愛情たっぷりのお弁当を味わっていました。

Old Kyu News（平成22年9月）

本当の勇気

9月14日、芸術鑑賞教室が舟形小学校で開催され、町内小中学生が劇団民話芸術座の民話劇『鬼の小槌』を鑑賞しました。この鑑賞会は、豊かな創造性と情操を養う機会にしようと毎年行われているものです。

「自分の使命まで忘れて人間のために命を賭ける、青鬼のゲン。権力や暴力では満たされることのない、人間の心。」きっと、自分の周りの人々を想う優しさ、本当の勇気などについて考えてくれたことと思います。

ペットボトルのキャップを回収！

第30回ふながた若鮎まつりから始まった「ペットボトルのフタの回収」。このキャップ800個で1人分のポリオワクチンとなり子どもの尊い命が救えます。

また、鮎と人に優しい環境づくりのためにも、みなさんのご協力よろしくお願いします。

設置場所／舟形町役場・生涯学習センター・堀内農村環境改善センター・ほほえみ保育園

第30回ふながた若鮎まつり

9月11～12日、アユパークふながたを会場に「第30回ふながた若鮎まつり」が開催。第30回記念として、焼き鮎が250円で提供されたこともあり、例年よりも多い約21,000人のお客様が訪れました。

子どもエリアでは子ども鮎つかみどりやミニ新幹線など、ステージエリアでは町芸能文化協会発表会、小学生による太鼓や踊り、ワッショイパレード、鳥羽一郎歌謡ショーなどが行われ、また食のエリアでは町産の「ニラ」や「やまがた地鶏」を使った特産品が販売され、新しいふながた若鮎まつりを堪能していただきました。

ふながた若鮎まつりは、舟形町のみんなで創るまつりです。一生懸命練習し、発表していただいた皆さん、そして、まつりを支えていただいたほほえみ男組・高ボラ・鮎ボラの皆さん、皆さんのおかげで若鮎まつりを盛大に開催することができました。ありがとうございました。

Old Kyu News（平成22年9月）

議会でも若鮎まつりをPR

9月9～10日、舟形町議会議員が、背中に若鮎まつりのトレードマークの「若鮎」が踊る「若鮎Tシャツ」を着用して、9月定例会に望みました。30回を迎える若鮎まつりをPRしよ行われました。

また、舟形町役場職員も「若鮎Tシャツ」を着て、PRしています。

若鮎まつりをPR

NHK山形放送局の番組「YYほっとチャンネル」中のイベント情報などを紹介する「テレビ伝言版」のコーナーが、もがみ情報案内センターにある、「スタジオゆめりあ」から中継されていることを、みなさんご存知でしたか？

9月10日、町職員が「第30回ふながた若鮎まつり」をPRしました。

見逃した方はこちら…

最上エコポリスオフシャルサイト　／

http://www.ecopolis.or.jp/

どよまん

「県内市町村を訪ね歩き、知られざる魅力を発掘しよう！見て、食べて、遊んで…色んなキーワードをもとに、旬の話題・使える情報などをお届けします！」TUYの番組「どよまん」のレッツゴー35の収録が9月7日に舟形町で行われました。

猿羽根山地蔵尊、小国川の鮎、観光体験メニューなどを結城・道広アナウンサーから紹介いただきます。放送は9月11日（土）午後4時54分からです。

見逃した方はこちら…

INTERNET　TUY　／　http://www.tuy.co.jp/doyoman/

感謝の茶会

9月8日、舟形小学校のクラブ活動の一つの江戸っ子クラブがお茶会を行い、舟形老人クラブ（会長沼沢貞夫さん）の会員に抹茶を振る舞いました。花壇の草むしりや手造りの雑きんを贈ったりしてくれる舟形老人クラブに感謝の気持ちを込めて企画されたも。浴衣や法被を着た児童たちが心おこめておもてなしました。

クラブ長の沼沢南さんは「喜んでもらえてうれしかったです。」と話していました。

Old Kyu News（平成22年9月）

医師住宅の全面改修工事

9月3日、30年余りを経過し老朽化していていた舟形診療所医師住宅の全面改築に伴う、起工式並びに安全祈願祭が行われました。山形県医師確保・定着化対策事業費補助金の交付決定を受けて、町が着手。建築内容は、木造2階建て1戸建住宅、延べ床面積は約45坪。

奥山町長は、「原田先生には今後も健康に留意され、町民が安心して医療を受けられるよう、一層のお力添えをお願いいたします」と挨拶しました。

トルコぎきょう

9月4日～5日、新庄市「ゆめりあ」で”新庄・もがみのフラワーフェスティバル2010”が開催され、花きの品評会と展示が行われました。

トルコぎぎょう（品種：サラローズ）を出展した進藤春男さん（富田）が見事「新庄市長賞」を受賞されました。おめでとうございます。

グラウンドゴルフ大会

9月6日、参加者84名の参加のもと第2回若あゆグランドゴルフ大会が若あゆ温泉の「あゆっこ村」ウッディーパークを会場に行われました。舟形若あゆ温泉が主催するこの大会は、日頃のご愛顧に感謝して毎年行われているもの。

結果は次のとおり。

1位：武田吉雄さん（沖の原）、2位：沼沢康夫さん（舟形第4）、3位沼沢繁治さん（長沢第3）

校内相撲大会

9月4日、町内各小学校で校内相撲大会が行われました。相撲のぼりの舞う富長小学校では、地域の公民館での横綱土俵入りや星川克之さん（長者原）を中心にした地域の方による相撲甚句の披露などをしています。元関取の栃桜さんや佐渡ケ嶽部屋の琴奥山さんの出身校の同校。地域の方がたくさん参加しての地域をあげた相撲大会を行なっています。

小さな「力士」の繰り広げる、熱戦に大きなおおきな歓声が送られていました。

Old Kyu News（平成22年8月）

なくそう「不法投棄」

8月29日、長沢地区の長沢目橋付近で内山町内会、大平町内会、長沢地区衛生組合長など関係者32名の参加により不法投棄原状回復作業が行われました。

町や衛生組合連合会では、ポイ捨て禁止ののぼり旗や看板などを設置し、啓発活動を行なっていますが、不法投棄は後を絶ちません。不法投棄をした人は法律により罰せられます。私たちの意識を高めるとともに監視を強化し、不法投棄のないきれいな町にしましょう。

Myご飯茶わんを作ろう！

8月27日、薫風窯「Myご飯茶わんを作ろう」が午前・午後の計2回開催され、13名が参加。金先生の指導のもと自分が使うのご飯茶わんを作成しました。参加者の一人は、「とても楽しかったです。ご飯を食べるのが楽しみ」と話していました。

このご飯茶わんは、この後、窯で丁寧に焼かれ、10月にあゆっこ村で開催予定の「舟形産やまがた地鶏フェア」で参加者みんなで「つや姫」を食べる計画だそうです。

奉納さばね山相撲大会

8月24日、奉納さばね山相撲大会が猿羽根山相撲場で開かれ、町内の小中学生と県内の高校学生合わせて約70名が熱戦を繰り広げました。

この大会は猿羽根山地蔵尊に奉納する伝統行事。約250年前に力自慢の男たちが相撲を取ったことが始まりとされています。

選抜選手が戦う北の湖杯のほか、学年ごとに個人戦と団体戦を展開。合間に勝ち抜き戦も行い、3人抜きを達成した選手に梵天が贈られました。

男組

8月21、22日、ほほえみ保育園の有志でつくるほほえみ男組が恒例の夏のイベントを行いました。

会場の十二河原河川公園には、園児とその家族ら約40人が集合。いかだくだり、五右衛門風呂、流しそうめんなどを楽しみました。夏休みの楽しい思い出となりました。

組員募集中！

問い合わせ／舟形ほほえみ保育園　電話　(32)2120

Old Kyu News（平成22年8月）

三光小

8月21～22日、港区三光小学校の児童と保護者約50名が舟形町を訪れました。この交流は、富長小学校と堀内小学校が交互に行なっているのもです。

今年の富長小学校との交流は、ブナ林でのトレッキングや十二河原でボートに乗ったりしました。また、児童達は土のグラウンドで100mを走ったことが無いそうで、富長小学校での100m競争も盛り上がりました。

お盆の恒例

8月13日、堀内伝承文化保存会が中心となり、堀内盆踊り大会が今年も行われました。この盆踊り大会は400年以上歴史があり、町の指定無形文化財に登録されています。

午後8時を過ぎるとお盆のお墓参りを終えた浴衣姿の地域の方が大勢参加し、「ほーほっほっ」と特有の掛け声が鳴り響きました。

世田谷区民まつり

7月31日～8月1日、第33回世田谷ふるさと区民まつりで「どぶろく」や「焼き鮎」などをPRしました。

操業開始

（株）ウツシカワソーイング山形工場跡地に電子機器の製造を行う（有）TICが事業所を構え、8月15日から操業を開始しました。

Old Kyu News（平成22年8月）

農協本店が舟形に

新庄市鳥越にある新庄もがみ農業協同組合（代表理事組合長安食賢一さん）本店が、舟形支店2階に移設することとなり、9月6日から本店業務が開始される予定です。これにより、舟形支店の充実はもちろんのこと、更なる農業振興に期待が寄せられます。なお、お客様の駐車場などについては十分な配慮をしています。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

安全運転を

8月4・5・11日、交通安全協会や交通安全母の会の方などによる「ドライブマナーキャンペーン」が亀割バイパス松原パーキングなどで行われました。

「暑い日が続きます。安全運転に気をつけてください。」と通行する車の運転手の方に呼びかけを実施。また、8月4日には舟形徳州苑職員の方々にもお手伝いいただきました。

調理講習会

8月2日、子どもたちへの「食育の充実」を掲げる舟形町は、夏の野菜と「鮎」を使ったメニューの指導を仰ごうと、食育推進事業の一環として、小学校の調理師などを対象にした調理講習会を開催しました。

舟形町堀内出身でLa楽リゾートホテルgreengreenの調理長などを務める長沢雅彦さんを講師にお招きしました。参加者約20名は、鮎の香草パン粉焼きなどについて指導をいただきました。

早寝、早起き、朝ごはん

8月9日、東海大学体育学部体育学研修科長の小澤治夫氏を講師に迎え、「学力・体力・気力の向上は生活習慣の立て直しから」と題した、食育講演会が舟形町中央公民館を会場に120名の参加のもと行われました。

「早寝早起き朝ごはん、テレビを消して外遊び。とても楽しい講演会でした。」と参加者の伊藤理恵さん（福寿野）は話していました。

Old Kyu News（平成22年8月）

交流は続く

7月31～8月1日、東京都港区東麻布街づくり協議会の方約50名が舟形町を訪れ「山形自然体験サマースクール」が行われました。この交流は旧飯倉小学校とのつながりの中から生まれたものです。

訪れた方がたは、堀内小学校児童との交流や川遊びなどで舟形町を満喫していました。

Old Kyu News（平成22年7月）

頑張れ！ほのちゃん！

7月19日、山形県小学生陸上競技大会が天童市のNDソフトスタジアムで開催。5年女子100mに出場した舟形小学校の下山ほのかさんが14秒25の好タイムで県チャンピオンの栄冠に輝きました。

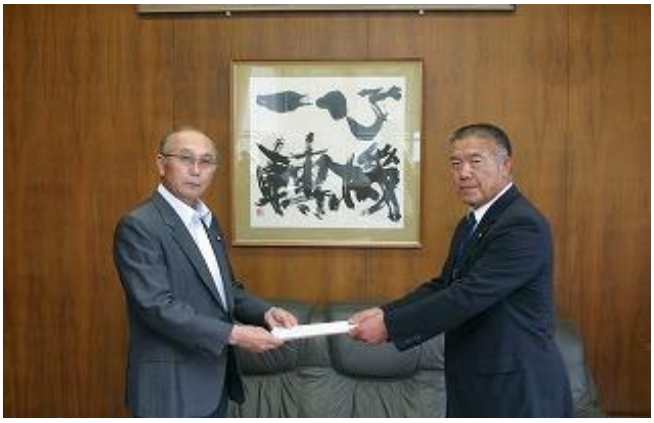
8月28日に国立競技場で行われる全国小学生陸上競技交流大会へ出場します。頑張れ！ほのちゃん!!

「鮎めし」はじめました

舟形町産業振興本部会議では、新しいビシネスチャンスに結び付く取り組みを推進する地域連携プロジェクトを進めています。7月28日、冷凍弁当「鮎めし」などの8商品への意見を聞く求評会が行われました。塩焼きにした鮎の身をほぐし、しょうゆや酒、みりんで味付けして米と一緒に炊く「鮎めし」。私たちが普段から食べる舟形の旬の味覚。

参加者から「鮎の香りがしておいしい」「ご飯がパラパラする」などの意見が寄せられました。

Old Kyu News（平成22年7月）



町へ政策提言書

7月28日、舟形町議会信夫正雄議長より奥山町長と太田教育委員長へ政策提言書が提出されました。この提言書の内容は、町内の小学校を統合し、跡地を地域の活性化に生かすべきではないかというものです。

なお、7月16日の第1回臨時議会において全会一致で議決されたものです。

避難訓練

7月27日、生涯学習センターとディサービスセンター遊楽館の防災訓練が行われました。施設内で火災が発生し、火災報知機によるベルが鳴ったことを想定しての訓練。避難誘導や消火栓の使用方法などについて荘内防災工業（株）の方や最上広域消防署南支署の八鍬則昭支署長さんから指導をいただきました。

この施設では、有事に備えて年2回の訓練を実施しています。

寄贈に感謝

7月26日、舟形町町銅板鍛金愛好会（会長大場義次さん）の方々が銅板で作ったグラウンドゴルフホール表示板16本を寄贈しました。この表示板は、若あゆ温泉ふれあい広場でのグラウンドゴルフに活用されます。

寄贈式の後、さっそく設置されたコースで、グラウンドゴルフ愛好会（会長高橋久資さん）の会員約60名が定例の記録会を行いました。

きもちい～（^O^）

7月26日、B＆G海洋センタープールでふれあい育児の広場が行われ、親子ら約20名が参加しました。恐る恐るプールに入った子どもたちでしたが、少しずつ水に慣れ、楽しそうな笑い声に包まれました。

この広場は、子育ての情報交換や交流の場として月に1～2回、開催されています。今後の日程などについては、「にこにこ通信」をご覧ください。

Old Kyu News（平成22年7月）

大切な糸

7月23日～25日、歴史ある児童交流学習が行われました。世田谷区山崎小学校97名と長沢小学校が、代沢小学校57名と舟形小学校が交流。児童宅への宿泊や川遊びなどでたくさんの思い出を作りました。

児童たちが自分たちで新しく紡いだ大切な糸。秋には舟形町の児童たちが東京へ会いに行き、新たな結び目をつくります。

やっぱり、夏はプールでしょ

7月24日、B＆G海洋センタープールの一般開放が始まりました。8月31日（火）までの開放で、時間は次の通り。なお、料金は幼児・小中学生が無料、高校生60円、大人は110円。

【月～日曜日】
午前9時～11時50分
午後1時～4時45分
【土曜日の夜間】
午後6時30分～8時30分

観光の拠点に

7月23日、新たな観光拠点と目指した「舟形町観光情報館」（館長伊藤清紀さん）と「薫風館」が若あゆ温泉のあゆっこ村内にオープンし、記念式典が行われました。

もがみ南部商工会が管理する観光情報館は、観光コーナーや交流スペースがあり、観光振興と特産品のブランド化を目指します。また、陶芸家の金先生こと沼沢寛美さん（一の関）が運営する薫風窯は舟形焼きを体験できる工房です。

金先生は「薫風とは初夏の香りのこと。これを機に舟形町に新しい風が吹けば。」と話していました。

◆舟形町観光情報館
◆薫風窯
最上郡舟形町長沢8067
電話：0233（32）0660

Old Kyu News（平成22年7月）

夏の県民運動始まる

7月22日～8日31日まで、明るいやまがた夏の県民運動が行われます。7月22日の出発式では、運動の重点を確認するとともに、ほほえみ保育園児の鼓笛隊による演奏が行われました。

夏は、気のゆるみや疲労などで交通事故・水の事故・青少年の非行なども増える傾向にあります。町民みんなで運動を推進しましょう！

泳がせ釣りの名人が小国川に

7月20日、泳がせ釣りの第一人者として知られる高松重春さんが直接指導する「高松重春鮎釣り教室」が、小国川で開催。栃木県を中心に活動する鮎釣り倶楽部が主催し、釣具メーカーのシマノ仙台営業所が協賛しています。

「アユ釣りは楽しいことだと思ってもらうことが大切。」と高松さんは話していました。

福祉鮎をありがとうございます

7月20日、釣具メーカーのグローブライド株式会社（旧名ダイワ精工）が主催する「第24回ダイワ鮎マスターズ2010南東北地区大会」が小国川を会場に開催。東北一円、北関東、北陸甲信越などから154名が参加しました。

釣られた鮎はいわゆる「福祉鮎」として、舟形町教育委員会に寄付。収穫祭などで児童生徒へ振る舞われる予定です。

G杯

7月18日、釣具メーカーのがまかつが主催する「第34回G杯争奪全日本鮎釣り選手権・小国川予選」が小国川を会場に105名の参加のもと開催。たくさんの観客も訪れました。

この日の小国川は、ニゴリが入る非常に厳しいコンディションでしたが、全国大会を目指すアユ釣り自慢たちが、友釣りの釣技を発揮しました。

Old Kyu News（平成22年7月）

「かっぱ」がいっぱい

7月17日、小国川を会場にして長沢子ども遊々塾が川遊びを行いました。毎年行われるこの川遊びは、通称「かっぱ遊び」と言われ、塾生が楽しみにしているものの一つです。

塾生のほか、親和会、長沢地区連合婦人会、長沢地区連合町内会の皆さん、約140名が参加。ボート遊びなど川で遊ぶ楽しさを体験しました。

芭蕉と茂吉の好物！？

7月17日、芭蕉が越えた321年前と同じ日時に『おくのほそ道・出羽路の旅』の著者の梅津保一先生の案内で、おくのほそ道と最上川の文化と歴史を体感する講座が開催されました。

参加者35名は、梅津先生の講演を聞いたり、羽州街道の史跡めぐりを行なったりしました。また、斉藤茂吉と芭蕉が好んだといわれる、素麺やところてんを食べて当時を偲びました。

ほほえみサマーフェスティバル

7月16日、ほほえみ保育園でほほえみサマーフェステバルが行われました。夏の思い出を親子で作ろうと、年長児とその保護者ら約140名が参加しました。

親子でゲームや焼き物への絵付け、お面屋さんなどの縁日コナー、花火などを行いました。

名歌の魅力

「忘れじの行く末まではかたければ…」儀同三司母の歌を6年生が大きな声で詠みあげます。

7月16日、舟形小学校が百人一首集会を開催。英語活動とともに日本の古い文化も大切にしていこうと百人一首に取り組んで4年目を迎えます。百人一首クイズなどで和歌に親しみました。

Old Kyu News（平成22年7月）

商工会青年部の善意

7月14日、もがみ南部商工会青年部舟形支部（部長斉藤雄一さん）の会員6名が、若あゆ温泉駐車場のライン引きをボランティアで行いました。

この作業は、若あゆ温泉を安心して訪れていただこうと企画されたものです。

縄文神輿

7月11日、西堀町内会で古くからおこなわれている八幡神社への奉納とともに、出土した縄文土偶へ感謝するおまつりが行われました。

「どっこい、そりゃ、そりゃ、そりゃ」と縄文神輿会（会長半田清一郎さん）らの威勢のいい掛け声が町内に響き渡りました。

安食選手が第2位に

7月11日、シマノジャパンカップ鮎釣り選手権大会が小国川を会場に行われました。県内外から166名が参加。

安食正男選手（舟形第1・写真左）が第2位に輝きました。

災害への備え

7月11日、経壇原地区で林野火災が発生したことを想定しての夏季非常招集訓練が開催。地域の方も消化器などで初期消火訓練に取り組みました。

この訓練は、消防ポンプの迅速な出動と適切な火災防御を行うために毎年行うものです。

Old Kyu News（平成22年7月）

手倉森にツリーハウス！？

7月10日、山大生がブナの実塾（塾長佐藤和夫さん）の実践する地域づくりを学ぼうと、山形大学フィールドワーク舟形教室を開催。山形大学生11名とブナの実塾など地域の方約10名が参加しました。

5年前から続くこの教室。今回は、山大生が地域に活動の記念を残す取り組みとして手倉森湿原で「ツリーハウス」の建設をしました。

カヌー教室

7月10日からB＆G海洋センタープールでカヌー教室が開催されています。初回のこの日、参加者4名はパドルの使い方など基礎から楽しく学びました。

B＆G海洋センターでは、8月5日（木）にマリンスポーツフェスティバル、8月28日（土）～29日（日）にはB＆G「親子ふれあいキャンプin舟形」を開催する予定です。

役場でも七夕飾り

7月7日、七夕飾りが役場にも登場。
「子どもたちの夢がかなう町に」
「住んで良かったといえる町に」
「笑顔あふれる町に」
など、まちづくりへの決意と願いが書き記されました。

笹の葉さらさら

7月7日、舟形ほほえみ保育園で七夕お楽しみ会が行われましれ、短冊に願いを込めて、笹飾りにつるしました。きりんぐみの相馬俊介くんは「でんしゃのうんてんしゅになれますように」と短冊に記していました。みんなの願いがかなうといいですね。

晴天に恵まれ、おり姫と彦星は無事に会えたことでしょう。

Old Kyu News（平成22年7月）

姿を変えるエネルギー

7月6日、長沢小学校で最上広域教育研究センターの職員3名を講師に迎え、「わくわく科学教室」が行われました。児童らは、水素と酸素が結合するエネルギーで走る走る電池自動車などの「エネルギー」をテーマにした実験で科学の楽しさを味わいました。

この教室は、夏休みに自由研究を行っている同校が、実験を通して科学に興味を持ってもらおうと企画したものです。

お茶で安らぐ

7月6日、舟形地区介護予防いきいきサポーター（沼澤紀美子代表）11名がほなみで七夕お茶会を行いました。裏千家流の沼澤仲子さんがお茶を点て、皆さんをもてなしてくれました。

ほなみの利用者の方は、「結構なお手前です。」と和三盆のお菓子とともに心安らぐひと時を満喫されていました。

合同の声掛け

7月5日、舟形町保護司会（会長伊藤清紀さん）と人権擁護委員の方々5名が舟形駅や各小中学校で生徒児童や教職員に対して合同の呼びかけを行いました。

保護司は、犯罪や非行をした人の改善更生を助けるボランティアで、犯罪や非行防止の啓発も行います。また、人権擁護委員は、人権相談や身の上相談を受けるなど人権侵害の防止に努めています。

和太鼓の響き

7月4日、猿羽根太鼓の伝承活動を発展させるため町内の子どもたちを対象に「猿羽根太鼓後継者子ども教室」を開催しました。講師は、（財）日本太鼓連盟1級公認指導員の龍連山先生。

活動2年目の今年は10名が参加。これから、9月に開催される第30回ふながた若鮎まつりでの発表に向けて練習します。

Old Kyu News（平成22年7月）

鮎釣り解禁

7月1日、待ちに待った鮎釣りが解禁！昨日までの雨でコンディションは最高とはいきませんでしたが、たくさんの太公望たちが小国川を訪れました。平均すれば1日10～20尾程という釣果が多かったようです。

小国川漁協によれば、春先の天候不順などの影響もあり、天然遡上も放流も遅れ気味だったことから、総じて小さめなものの、7月半ばから下旬になれば、15～17cmクラスが数多く釣れるようになるということです。

Old Kyu News（平成22年6月）

地域づくりは話し合いから！

6月28日、地域のみなさんと役場職員64名の参加者のもと、高崎経済大学の櫻井常矢准教授を迎えての合同研修会が行われました。

櫻井先生は、山地域コミュニティ再生促進事業アドバイザーで地域活性の仕掛け人です。ユーモアを交えて語られた地域づくりのヒント。参加者は、ワークショップ（話し合い）で自分たちの地域について話し合いました。

吹き矢で健康づくり

6月28日、舟形地区介護予防いきいきサポーター（沼澤紀美子代表）によるスポーツ吹き矢教室が清流荘で行われました。スポーツ吹き矢新庄支部から青柳功一支部長、今田勇副支部長、内山効二顧問を講師に招き、基礎から学びました。

自分たちの介護予防の活動を中心にボランティアなどで地域の方との交流も行っているこの団体は、32名の会員が毎週月曜日、清流荘で活動しています。

Old Kyu News（平成22年6月）

火点は前方の標的！

6月27日、太陽が照りつける中、第51回消防ポンプ操法大会が開催されました。会場のアユパークは、緊張と熱気に包まれ、20チームが練習の成果を競い合いました。第4分団第7部（紫山）が優勝しました。また、優れた操作員10名に個人賞が贈られました。
なお、結果は次のとおりです。
優勝4－7（紫山）　準優勝5－9（富田）
第3位3－21（太折）　第4位2－3（内山）
第5位5－11（福寿野）

シャボン玉飛んだ♪

6月25日、子育て支援センターみらいが保育所に入る前の親子の交流の場を設けようと主催した「ふれあい育児の広場」が行われ、親子約50名が青空に思い思いにシャボン玉を飛ばしました。
参加した伊藤結衣ちゃんとお母さんの志保さん（幅）は、「いつもみらいを利用しています。親子で参加できるいろいろなイベントがあってとても楽しみです。」と話していました。

期日前投票ができます

6月25日、7月11日投開票の第22回参議院議員通常選挙の期日前投票が始まりました。舟形町保健センターで7月10日まで行うことができます。
～第22回参議院議員通常選挙スローガン～
あなたの一票が大切な人のしあわせにつながる。

合同の研修会

6月21日、町内会長と民生児童委員と地域女性委員の合同研修会が行われ、災害時要援護者への地域支援体制について議論しました。消防団はもちろん、女性委員との連携なども重要となります。
参加者からは、「担架など防災グッズについても検討してほしい」との意見がありました。

Old Kyu News（平成22年6月）

トレランGで乾杯！

6月13日・20日、舟形地区を対象に糖尿病検診が行われました。5年に1回、特に眼科検診が充実した今回のこの検診には約500名が参加。約30年にわたる糖負荷試験の成果は、「舟形スタディ」として世界的に注目されています。

また、平成17年度に行なったヨーグルトモニターなどへの協力に対して、明治乳業から全町内会へ「輪投げセット」、園児や児童生徒へヨーグルト製品「R－1」1年分が6月21日から贈られています。

地域の玄関をきれいに

6月13日、沖の原町内会（会長遠藤繁雄さん）と青少年育成推進委員（委員長沼沢啓さん）ら約60人とボランティアサークル「ふなっ子」（代表大場絵里香さん）の18人が沖の原インタージェンジ付近を中心に草刈とゴミ拾いを行いました。

また、青少年育成推進委員とふなっ子のみなさんは舟形駅の清掃も行なっています。

舟形町を満喫

6月13日、新庄駅長おススメ小さな旅が行われました。県内外から訪れた約30名が松橋わらび園でわらび狩りを体験したり、若あゆ温泉に入浴したりして舟形町を満喫しました。

JR東日本新庄駅や最上地域観光協議会が企画するもので、最上地域の魅力をPRしようと舟形町でも年4回実施の予定です。

幅まつり

6月12日、幅町内会（会長伊藤準悦さん）で熊野神社奉納のおまつりが行われました。青年団を中心とした神輿でまつりを盛り上げました。

Old Kyu News（平成22年6月）

経壇原まつり

6月12日、経壇原町内会（会長大場次雄さん）で古峰神社奉納のおまつりがおこなわれ、町内を樽神輿で練り歩きました。

清流シャキシャキおかひじき

6月9日、「チャレンジ農業実践塾」のおかひじき倶楽部会員と、活気あふれる推進機構、新庄もがみ農協などで、「おかひじきの目揃い会」を行いました。生産者が適期収穫や出荷規格を統一することで市場での有利に販売を展開していきます。

現在最盛期を迎え、産直まんさくや市内のスーパーなどでも販売しています。

地域づくり運動会

6月6日、富田第1・2町内会が第24回富田地域づくり運動会を行いました。約100名が参加したこの運動会。町内対抗での綱引き、ワナゲ、リレー競技で世代を超えた交流を深めました。

おじいちゃん、おばあちゃんと一緒

6月11日、舟形ほほえみ保育園にて第15回目を迎えるふれあい運動会が開催されました。町老人クラブ連合会（佐藤景雄会長）とほほえみ保育園が主催したもので、園児45名と老人クラブのみなさん約50人が参加。まりいれ・わなげ・ふろしきリレーで交流を深めました。

Old Kyu News（平成22年6月）

舟形町小学校陸上競技大会

6月9日、舟形町小学校陸上競技大会が行われました。町内小学校の4･5･6年生が参加するこの大会は、今回で第44回を数えます。トラック･フィールド種目に分かれ自分の記録に挑戦しました。

舟形小学校の下山ほのかさんが5年女子100mで15秒2の大会新記録を樹立。昭和56年からの記録を約30年ぶりに更新しました。また、下山さんは少年少女陸上競技大会でも優勝しており、県大会での活躍も期待されます。

はまぐり沼散策

6月6日、西堀町内会が主催する「はまぐり沼散策」が行われました。西堀町内をはじめ町外から約25名が参加。木洩れ日の輝く中の森林浴、貝の化石の発掘、地質講座などを行いました。

また、午後からはブナの実塾を訪れ、絶滅危惧種について学ぶとともに、人と自然とのかかわりについて考えました。

第24回東北輓馬競技舟形大会

6月6日、第24回東北輓馬競技舟形大会が、一の関河川公園輓馬競技場で開催。遠くは北海道、東北各地から集まった30頭の輓馬による馬力勝負に、約1，400人の観衆は大きな声援を送っていました。

また、一の関町内会婦人会による「花笠音頭」や「舟形小唄」の踊り、新庄太極拳愛好会舟形支部による太極拳表演、舟形小学校6年生による「舟小ソーラン踊り」が大会に華を添えてくれました。

内山病送り

6月5日、内山町内で病送りが行われました。この行事は、さなぶり時期に古くからおこなわれているもので今年1年の無病息災を祈願しました。

内山町内などの長沢地区では、腰に刀をさした「病送り人形」を作り、それを門口に立てたます。また、各家庭の門口で藁を燃やして、鉦を鳴らしながらやって来る行列に運ばれる親人形にその火の粉をかけたりして、病魔の侵入を防ぐそうです。

Old Kyu News（平成22年6月）

ここは南国！？

伊藤潔さん（内山）が昭和59年に植えたシュロの木が花を咲かせました。シュロはヤシ科の樹木で主に九州南部を原産とし、この地方では大変珍しいようです。

枝はなく、幹がまっすぐに伸びて、その頂点に円形で扇状に深く裂けた葉を四方に伸ばします。幹は繊維状の毛で覆われており、この毛はシュロ縄やたわしの原材料になります。

長沢子ども遊々塾

6月5日、長沢子ども遊々塾が開催され長沢地区の草花探索を行いました。児童と保護者ら約50名が参加。森の案内人の矢口末吉先生とともに長沢目川周辺を歩きました。

この塾は、地域の子どもを地域の知恵と力で育てようと平成14年に長沢親和会、連合町内会、老人クラブ、婦人会、民生児童委員などやPTAの代表者で実行委員会を組織しているのもです。今年は5回を行う予定です。

地域子ども教室

6月4日、地域子ども教室が行われ、第3回の今回は、朝顔と風船かずらの植栽を行いました。親和会の方たちと児童約20名が参加しました。

この教室は、地域の子どもは地域で育てようと放課後の「学びの場」・「遊びの場」・「交流の場」を提供し、子どもの安全な居場所を確保することを目的に毎週金曜日行われます。

オカリナ・コンサート

6月1日、オカリナコンサートが行われました。このコンサートは、ブナの実21が主催したもので、薬師の森とブナの実塾の古民家で演奏が行われました。

新庄市出身で群馬交響楽団のトロンボーン奏者でオカリナ奏者としても活躍する小田原朝雄さんとピアニストの渋谷康幸さん演奏。「コンドルは飛んでいく」や「風になる」などを披露し、観客を魅了しました。

Old Kyu News（平成22年5月）

糖尿病検診リーダー研修会

5月31日、舟形地区を対象に行われる糖尿病検診のリーダー研修会が行われました。町内会長・隣組長・衛生組合長を対象に行われたこの講習会には、山形大学医学部の大泉先生らを講師に迎え、検診の内容の説明などが行われました。

今回は、特に眼科検診が充実しています。舟形地区の方を対象に行われるこの糖尿病検診をぜひ受診しましょう。

地上デジタル放送相談・説明会

5月31日、デジタル放送への切り替えに関する相談会を行われました。2011年7月24日にデジタル放送に完全移行します。地上デジタル放送の受信には、地上デジタル対応受信機器とUHFアンテナが必要です。

この相談・説明会は6月4日まで行われます。デジタル放送への切り替えに関することでお困りのことがありましたらご来場ください。

小学校運動会

5月30日、各小学校で運動会が行われ、青空に恵まれました。

舟形小学校では、紅白に分かれた児童たちが応援合戦やリレーなどで組の勝利を目指しました。お家の方、地域の方の大声援の中、練習の成果を発揮しました。

若あゆゲートボール大会

5月29日、若あゆゲートボール大会が若あゆ温泉ゲートボールコートで行われました。約40名が参加したこの大会は、ゲートボール愛好者の交流を深めようと舟形若あゆ温泉が初めて主催した大会です。

レベルの高い大会を制したのは、庄司勝子さん、庄司美和子さん、佐藤冨雄さん、庄司定男さん、佐藤武男さんらの太折Aチーム。また、第2位は長沢Dチーム、第3位が長沢Aチームでした。

Old Kyu News（平成22年5月）

花いっぱい運動

舟形町青少年育成町民会議（伊藤準悦会長）が主催する「花いっぱい運動」が行われました。

5月29日、今年から初めて取り組む木友町内会で花苗植えを行いました。地域の方と子ども達約30名が参加しました。

この運動は、花植えや管理など共同作業を通して、子供に地域づくりに対する関心を持ってもらい、地域の一員としての自覚と、公共心、奉仕する心を育てることを目的に毎年行なっています。

若鮎交流塾

5月27～28日にかけて、若鮎交流塾（叶内富夫塾長）が宮城県郡山中学校2年生約40名の体験教育旅行の受け入れを行いました。わらび・みず・うどなどの山菜を採ったり、わらじ作りをしたり、町内約20の民泊先へ宿泊したりして、町の魅力を満喫しました。

事務局の沼澤正則さんは、「『本物の体験』を提供することができました。急な日程変更など大変ご苦労をおかけいたしましたが、民泊先の方や長沢遊々塾のみなさんのご協力に感謝。」と話していました。

富長小学校で田植え体験

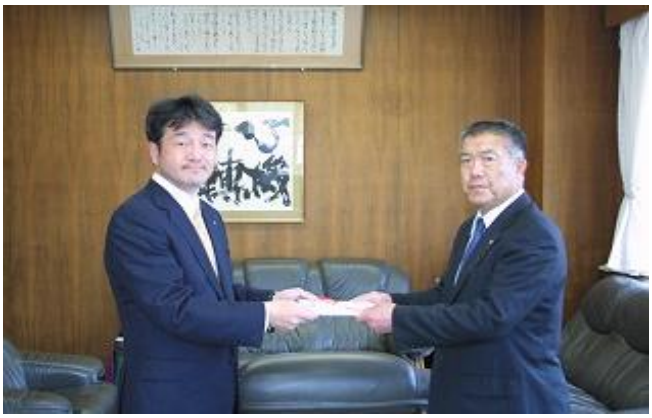
5月29日、富長小学校5年生6人が昔ながらの枠を転がしての手植えで実習田にもち米を植えました。この実習田は、長者原の鈴木勝義さんの好意によって毎年活用している田んぼです。

岡崎佳林さん（福寿野）は、「秋には収穫感謝祭でもちをついて学校のみんなで食べます。たくさん実るように心を込めて植えました。」と話していました。

松橋わらび園オープン

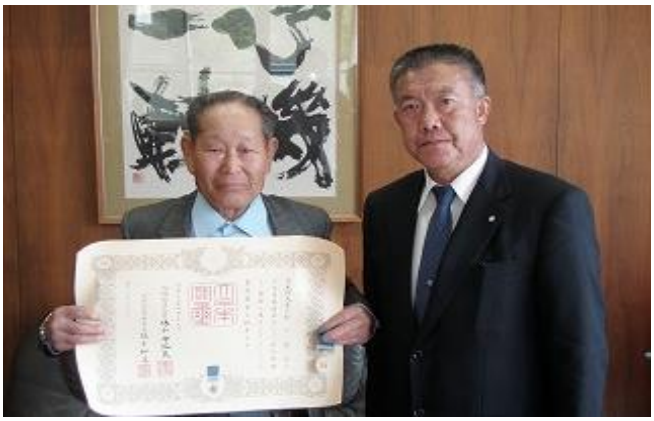
5月23日、松橋わらび園がオープンしました。天候にも恵まれ、県内外から約300名が訪れました。広さ15haのわらび園。今年の生育は良好のようで、1時間ほどで持参したはきごや手さげ袋がいっぱいになっていました。6月下旬まで毎週水曜日と日曜日午前8時～10時の間営業します。

Old Kyu News（平成22年5月）



東北電力より街路灯

5月18日、東北電力より街路灯4基が寄贈されました。この街路灯は町内各地に設置され、皆さんの安全を照らします。



有川哲生さんに藍綬褒章

社会や公共、文化などに功績のあった方へ贈られる「春の褒章」が4月29日に発表され、有川哲生さん（洲崎）が「藍綬褒章」を受章されました。有川さんは、46年の永きに亘り国勢調査員として従事され、常に他の調査員の模範となられました。また、平成7年～13年まで町統計調査員協議会副会長としても尽力されました。

5月18日、有川さんが奥山町長へ報告に訪れました。

わんぱく相撲

5月16日、わんぱく相撲もがみ場所が猿羽根山相撲場で行われ最上地区の小学生36名が参加。学年ごとの個人の総当たり戦で「横綱」を目指しました。

八鍬悠太くん（舟形小）が見事に5年生横綱に。また、須藤滉人くん（富長小）6年生大関、斉藤太智くん（舟形小）と佐藤瑞輝くん（富長小）が4年生関脇に輝きました。

蟻やかたオープン

澤内義明さん（洲崎）らが考房と展示場を兼ねた、『普段着の美術館「蟻やかた」』が5月1日にオープンさせました。8名のボランティアの方に支えられるこの美術館には、地域の方たちの作品が並びます。

住所／舟形町堀内40－2（旧新庄もがみ農協堀内支店）
開館時間／平日：午後1～4時 土日祝日：午前10時～午後4時
休館日／火曜日
問い合わせ／電話（35）2011

Old Kyu News（平成22年5月）

五橋の季節です。

5月12～13日、仙台市立五橋中学校の2年生214名が今年も舟形町を訪れ、野外活動を行いました。町内の92世帯へ「民泊」したり、「そば打ち体験」などを行って交流を深めました。

13日に行われた「田植え体験」では、あいにくの天候となりましたが、楽しく元気に、心をこめてもち米とうるち米を植え付けました。

同中学校が舟形町を訪れるのは、今回で4回目。今年も秋には収穫祭などを行う予定です。

沼沢長吉元町長、高齢者叙勲

この度、永年地方自治に貢献された、沼沢長吉さんが高齢者叙勲「旭日単光章」を受章され、5月10日、ご家族と信夫議長が同席のもと、奥山町長より伝達されました。沼沢長吉さんは、町教育長と助役、そして通算2期8年に亘り町長を歴任され、町政の健全な発展に尽力されました。

誠におめでとうございます。

また、受章を記念して貴重な図書を町に寄付していただきました。

English is fun♪

5月10日、町内小学5･6年生が「外来語」をテーマに外国語（英語）活動合同授業を行い、歌やチャンツで楽しくコミュニケーションをとりました。

平成15年度から全国に先駆けて活動している舟形町の「外国語（英語）活動」。舟形町英語教育研究会（会長井上洋子舟形小学校長）では、日本の英語教育の第一人者、阿部フォード恵子先生を迎えて活動を行なっています。

満開の桜の下で

5月5日、長尾町内会で長尾熊野大社奉納のおまつりが行われました。毎年、青年団を中心に工夫を凝らしたまつりを行っています。今年は、少し遅い桜の開花で満開の桜の中、お神輿を担ぎ町内36件を練り歩きました。

Old Kyu News（平成22年5月）

消防春季演習

5月5日、平成22年度春季消防演習が開催されました。この演習は、災害に備えて実力ある消防団を育成するために毎年行われるもので、舟形町消防団員や関係者ら約500人が参加。加藤団長を先頭に舟形本町通りを堂々と分列行進しました。

アユパークふながたでは、団員による小中隊訓練や操法演習、山形県消防防災航空隊「もがみ」による火災防御訓練も行われました。

男組が春のイベント

5月2日、ほほえみ保育園の有志でつくるほほえみ男組が恒例の春のイベントを行いました。会場の猿羽根山には、家族約30人が参加。ザリガニ釣り、山歩きと野草探しなどを行い、春の代名詞「かど」焼きとタケノコ汁に舌鼓をうちました。GWの楽しい思い出となりました。

この活動は、幼児共育ふれあい講座とタイアップして行われ、最上教育事務所からも参加しました。

地域の施設「ほなみ」に

5月1日、地域密着施設「ほなみ」では、舟形第二老人クラブ（会長沼沢ツヤさん）と観桜会が行われました。同施設は、近所の方など世代を問わず集える地域交流施設にしようと、この会を合同で企画。

昼食会や歌とゲームで交流を深め、楽しい1日となりました。

Old Kyu News（平成22年4月）

縄文時代にタイムスリップ

4月26日、長沢小学校で山形県埋蔵文化センターの齊藤主税さん（内山）を講師に迎えて出前教室が行われ、縄文のくらしについて学びました。舟形・長沢地区の縄文遺跡の学習や本物の土器や石器に触れるたり、火おこし体験をしました。

6年生の山田史織さんは「私の家の近くでも土器が出ると聞いてとても驚きました。貴重な体験、ありがとうございました。」と話していました。

舟中運動会

4月30日、舟形中学校運動会が行われました。悪天候により1日順延して行われたこの運動会のテーマは「挑戦」。

紅組は「威風堂々」のテーマのとおり自信に満ち溢れ、紅組は「以心伝心」のテーマのとおりみんなで支え合って戦いました。

今にも弾けそうな桜のつぼみのちからを上回る、舟中生のパワーに大きな拍手が送られました。

きれいなまちに！

舟形中学校の生徒の皆さんが、県縦断駅伝競走大会の応援終了後、恒例となった道路のゴミ拾いを行いました。生徒の皆さん、いつもありがとうございます。

生徒たちに負けず、みんなできれいなまちにしていきましょう。

大きな大きな声援

第56回県縦断駅伝競走大会が行われ、2日目の4月28日に舟形町を通過しました。沿道には、舟形小学校や舟形中学校の児童・生徒など、たくさんの方々が応援に駆け付け、タスキを繋ぐランナーに声援を送りました。

舟形町からは山口大陽選手が、計2区間を力走。特に3日目の第21区（長井ー川西）では、区間3位となり、新庄最上チーム躍進の原動力となりました。

Old Kyu News（平成22年4月）

がんばれ！山口選手！

第56回山形県縦断駅伝競走大会（4月27～29日）に出場する「新庄・最上チーム」。舟形町からは、山口大陽さん（舟形町教育委員会）が出場します。「町の子どもたちに夢を持ってもらえる走りをします。」と山口選手。

この大会は、県内11地域の代表が、約300㎞、28区間で健脚を競う春の一大スポーツイベントです。2日目には舟形町を通過します。山口選手、新庄・最上チームをみんなで応援しましょう！

こぶしの道ウォーキング

4月25日、こぶしの道ウォーキングが36名の参加のもと行われました。天候にも恵まれ、春の匂いを感じながら、咲き始めた「こぶしの道」を約40分間歩きました。

参加者の一人は、「みんなで楽しく歩くことができました。秋のウォーキングにもぜひ参加したい。」と話していました。

福寿野まつり

4月24日、福寿野まつりが行われました。このまつりは、南無地蔵大菩薩の奉納のまつりで、家内安全・身体堅固を祈願するものです。

今年は、24日が休日であったこともあり、あいにくの天候にもかかわらず、例年より多い約50名が参加。まつりのメインの神輿では、子どもたちが元気よく町内を練り歩きました。

ようこそ1年生！

4月23日、舟形小学校で1年生名を迎える会が行われました。2～6年生は、1年生に喜んでもらうために自分たちの手で学年ごとにクイズや自己紹介を行いました。楽しそうな1年生の笑顔がとても印象的でした。

今年、舟形小学校では「大きい声」で話すことを目標としています。この会もマイクを使わず、みんなに聞こえる大きい声で発表しました。

Old Kyu News（平成22年4月）

スポ少結団式

4月17日、スポーツ少年団結団式がB＆G海洋センターにて行われ、12団体、約100名が参加しました。

団員を代表して、堀内バドミントンの小野美鈴さんと富樫省吾くんが「スポーツを通して、心と体を鍛え、仲間と元気に明るく活動します。」と誓いの言葉を言いました。

富長小学校で交通安全教室

4月16日、富長小学校で交通安全教室が開催されました。児童たちは横断歩道では素早く渡ることなどを学びました。

交通指導員さんや駐在さんらの指導で行われるこの教室は、15日には長沢小で行われ、舟形小学校と堀内小学校でも行われ、実際に通学を歩くなど地域の交通事情に合わせた指導が行われる予定です。

町内会長連絡協議会

4月16日、町内会長連絡協議会が行われました。町内会長は、町内会のリーダーで、地域づくりをけん引するなど多くの役割を担っています。

今年から会議の方法を変え、「ワークショップ」形式を取り入れて、町内会間の情報交換に多くの時間を使われました。特に「災害時要援護者避難支援プランなど、高齢者世帯が増える中での地域の支え合いの大切さ」や「女性代表など、地域の中での女性の意見や役割の重要性」などについて意見が出されました。

スクールバスをピカピカに

4月16日、スクールバスの運転手7名が、舟形オートの伊藤初さんを講師に迎え、「洗車講習会」を行いました。通常のシャンプーなどでは落ちにくい汚れを、鉄粉とりやワックスがけなどできれいにし、バスを長持ちさせるプロの技術を学びました。

運転手さん方は、「今まで落とせなかった汚れを、きれいにすることができた。これからは、月2回くらいはワックスをかけ、バスを長持ちさせたいと話します。」これからも、きれいなバスで子どもたち安全と夢を運びます。

Old Kyu News（平成22年4月）

納税組合長会議

4月15日、町納税組合長会議が行われ、委嘱状交付の後、平成22年度の活動を確認しました。納税組合長は、町税などをみなさんから集めて納付したり、納税意識の高揚を図る活動をします。

町納税貯蓄組合連合会長の佐藤正良さんは、「みなさんの納税意識の高さから、平成20年度の町税（一般会計）の収納率は、県内で第2位です。町税は納期までに納めましょう。」と話していました。

交通ルール、交通マナー

4月13日、春の交通安全県民運動に合わせ、ドライブマナーアップキャンペーンが行われました。最上地区交通安全協会舟形支部、交通安全母の会の方など14名が参加。国道13号線脇の駐車場で、交通安全を呼びかけるチラシと反射材などを約200名のドライバーへ手渡しました。

舟形町民として、交通ルールを守り、正しい交通マナーを身につけましょう。

南支署式竣工式

4月12日、最上広域消防署南支署（八鍬則昭署長）の竣工式が関係者約60人の出席のもと行われました。1億4200万円をかけ建設されたこの南消防署は、事務所、研修室のほか、緊急ヘリポートなどが設けられ、消防ポンプ車、救急車、広報車を1台ずつ配備しています。

新たな防災拠点として舟形町、大蔵村だけでなく、最上地区全体の安全確保に貢献します。

今年も火災「0」

4月10日、春の火災予防運動（4月9～22日まで）に合わせ、防火キャラバンを行いました。消防車両により町内を巡回し、火災の予防を呼びかけました。今年度も火災「0」を目指し、みなさんで火の用心に努めましょう。

平成22年度全国統一防火標語
「消したかな」あなたを守る合言葉

Old Kyu News（平成22年4月）

入学式

4月8日、各小中学校で入学式が行われました。
長沢小学校では、11名の児童が入学。希望と喜びに満ちた新入生の笑い声が、澄んだ青空に響き渡りました。

平成22年度入学児童・生徒数
舟形中学校49名
舟形小学校20名
長沢小学校11名
富長小学校12名
堀内小学校2名

春の交通安全県民運動

4月6日、春の交通安全県民運動の出発式が行われ、15日までの春の交通安全県民運動がスタートしました。舟形町内では1年4か月交通死亡事故が発生していません。この日は飲食店など29ヶ所を回り、飲酒運転の撲滅を呼びかけました。
4月は、通行に不慣れな新入学児の通学が始まります。私たちが交通ルールを守ることが、子どもたちなどの交通弱者を守ることにつながります。
運動の基本
「子どもと高齢者の交通事故防止」

ほほえみ保育園入園式

4月5日、ほほえみ保育園の入園式が行われ、希望に溢れる32名の新入園児を迎えました。
4月1日現在、152名（0～5歳児）となった舟形ほほえみ保育園。
「町を担う大切な宝の子どもたち。『育ち』の環境を家庭と連携・協力しながら、健やかに過ごせるよう職員一同頑張ります。」と伊藤園長は話します。

大場輝美さんを教育委員に再任

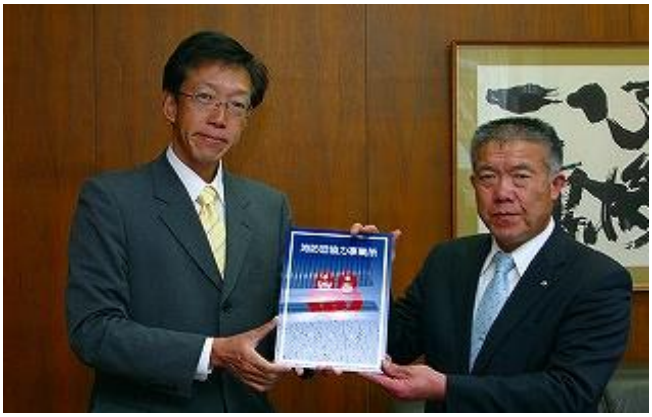
4月1日付けで、大場輝美さん（長沢第2）が町教育委員会委員に再任されました。大場さんは、平成5年4月から町教育委員会委員を務められ、今回で5期目となります。
今後も大場さんの教育行政での活躍が期待されます。

Old Kyu News（平成22年4月）

森長沢駐在さん

4月から長沢警察駐在所に勤務されている森昭彦巡査部長です。人事異動で山形署からおいでになりました。

森駐在さんよりみなさんへ一言。「家族ともどもみなさんの安心安全な生活のために頑張ります。何かありましたら、お気軽に相談ください。」



消防協力事業所表示「第1号」

4月1日、町消防団協力事業所表示証の第1号が（株）伊藤組（代表取締役伊藤重さん）に交付されました。この制度は、防災力強化のために、従業員に2人以上消防団員がいる、消防団活動へ積極的に取り組んでいるなどの事業所に認定証を交付するものです。事業所は、表示証を掲げることで社会貢献を広報することが出来ます。

奥山町長より交付を受けた伊藤組の伊藤光信さんは、「地域の安心安全な生活のために微力ながら貢献したい。」と話しました。

「ほなみ」開所式

4月1日、（福）舟和会（理事長井上達磨さん）が運営する地域密着型複合施設「ほなみ」の開所式が行われました。旧舟形保育所を改修したたこの施設は、小規模多機能型住宅介護事業所と地域密着型老人福祉施設が併設されています。町に住む要介護認定を受けている方などが利用できます。

開所式で、奥山町長は「利用者に安心安全な生活を送っていただくとともに、地域に愛される施設にしていきましょう。」とあいさつしました。